

平成 28 年度

外国語科目履修の手引き

「外国語科目履修の手引き」利用にあたって

- ① この「手引き」は具体的に「履修登録までの手順」を示したもので、「履修規定」の内容は説明していません。卒業までに修得すべき外国語科目・単位、および履修すべき英語クラスについては、
- 1 所属する学部・学科の「履修規定」を熟読
 - 2 学科履修ガイダンスに出席
 - 3 学科共同研究室、又は教務委員に確認して下さい。
- ② ここで説明する「履修の方法」は、全ての履修区分（必修科目・選択必修科目・自由科目・随意科目）にあてはまります。

※なお、国際社会科学部の学生は、総合基礎科目の英語（この冊子掲載の英語）の授業は履修できません。

利用手順

1. 所属する学部・学科の「履修規定」によって、修得すべき科目・履修単位数を確認し、履修を希望する外国語・グレード（初級・中級・上級）を選んで下さい。



2. 所属学部の **A 表** と **B 表** の指示に従って、履修を希望するクラスを選び、「履修の手順」(P. 171 参照) のとおりに履修手続きを行って下さい。

* **A 表**：一般的パターンのクラス選択方法（学部別）

_____	「1 年次用」
_____	「2 ～ 4 年次用」

* **B 表**：クラスの選択範囲（学部別）

_____	「全学年共通」
-------	---------

目 次

指定クラス・優先クラスについて	
西1号館1階の正面入口揭示場	170
履修の手順	171
法学部学生用	
A表 : 1年次用	172 ~ 173
2 ~ 4年次用	174 ~ 175
B表 : 全学年共通	176 ~ 177
経済学部学生用	
A表 : 1年次用	178 ~ 179
2 ~ 4年次用	180 ~ 181
B表 : 全学年共通	182 ~ 183
文学部学生用	
A表 : 1年次用	184 ~ 186
2 ~ 4年次用	187 ~ 189
B表 : 全学年共通	190 ~ 194
理学部学生用	
A表 : 1年次用	195 ~ 196
2 ~ 4年次用	197 ~ 198
B表 : 全学年共通	199 ~ 200
国際社会科学部学生用	201
特別な手続きが必要な場合	202 ~ 203
英語インテンシヴ・コースについて	203 ~ 204
Q. & A. こんな時はどうしたらよいのですか？	205 ~ 213
(1) クラス指定方式について : Q. 1 ~ 3	
(2) 履修クラスの選択範囲・選択方法について : Q. 4 ~ 7	
(3) 履修が許可される優先順位について : Q. 5	
(4) 入学手続き時の登録と異なる外国語の履修について : Q. 8	
(5) 指定されたクラスの変更について : Q. 9	
(6) 履修を希望するクラスの第1回目の授業に欠席した場合について : Q. 10	
(7) 履修クラスの決定時期について : Q. 11・12	
(8) 履修グレード(初級・中級・上級)、セミナーについて : Q. 13 ~ 24	
(9) 履修した科目が不合格となった場合について : Q. 21	
(10) 哲学科学生で英語以外を必修外国語(I)とする場合について : Q. 25	
(11) 休学経験者の履修について : Q. 26	
(12) 編入学者・再入学者の履修について : Q. 27	
(13) 履修クラス数の制限について : Q. 28	
(14) 外国語クラス名の略称について : Q. 29	
(15) 継続履修について : Q. 30	
(16) 法学部・文学部・理学部学生の必修外国語登録について : Q. 31	
(17) 履修規定に関する質問への対応について : Q. 32	
各クラス定員締切り情報について	214
学科履修規定の問い合わせ先	215

指定クラス・優先クラスについて

指定クラス 履修するように指定されたクラスで、抽選を経ないで履修登録できる優先権がある。
具体的には新1年次の英語・ドイツ語・フランス語・中国語、
文学部の一部学科のスペイン語・イタリア語・朝鮮語、文学部2年次の英語、
理学部2年次の英語、物理学科・化学科2年次のドイツ語・フランス語が該当する。
指定クラス履修者リストは、西1号館1階の正面入口掲示場に4月6日に掲示される。
第1回目授業時に限り、最優先者となる（第1回目の欠席者は無効）。

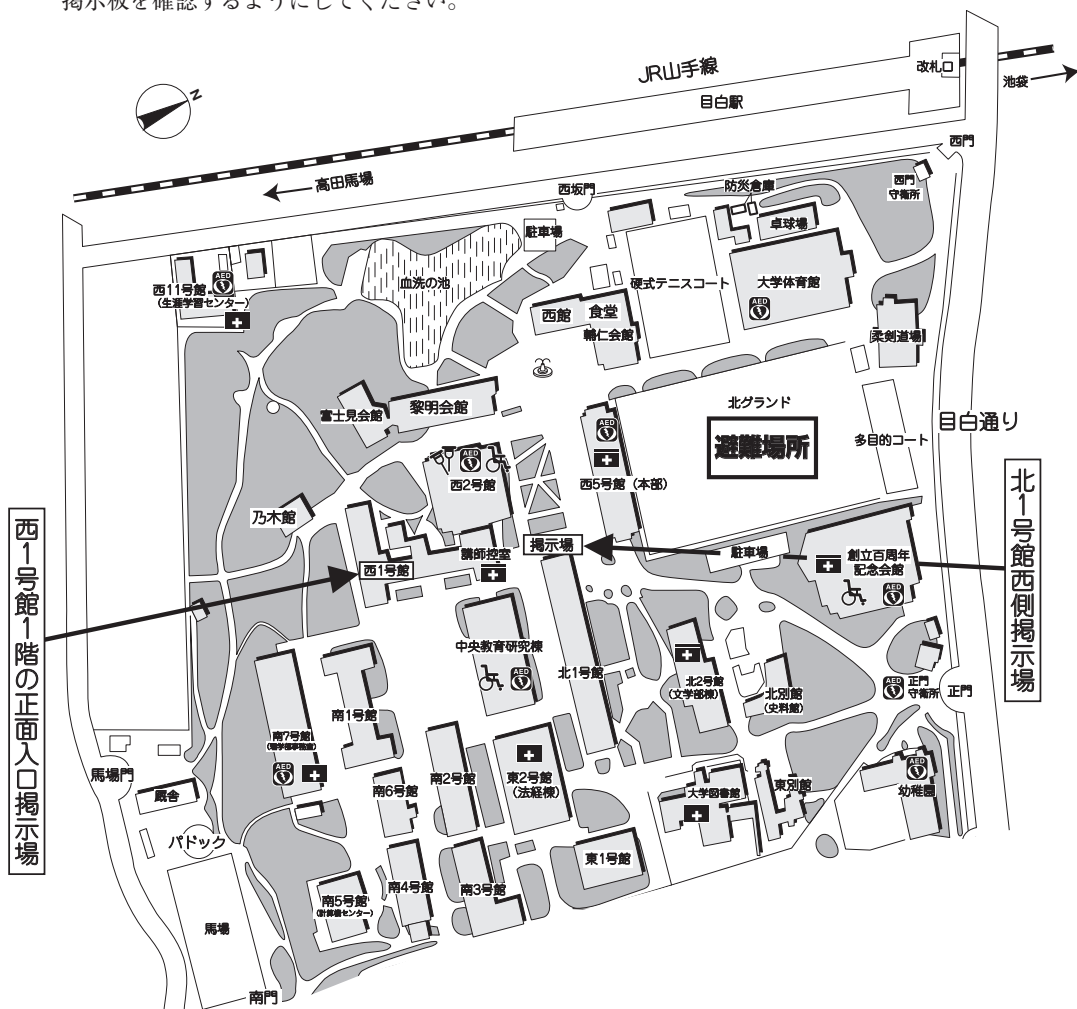
優先クラス 明示された学部・学科が優先となるクラス。「指定クラス履修者リスト」がある場合は、
彼らに次いで第2優先者となる。
ただし、第1回目の授業に欠席した場合は、優先権は無効となる。

西1号館1階の正面入口掲示場

「指定クラス履修者リスト」（4月6日）

「各クラス定員締切り情報」など、外国語科目の履修に関する情報を掲示。

※外国語教育研究センターの掲示板は、北1号館西側掲示場にもあります（休講掲示板的裏）。両方の
掲示板を確認するようにしてください。



履修の手順

- ①外国語の「履修規定」（『履修要覧』記載）で履修するグレード（初級・中級・上級）を確認した上で、学部別に掲載されている **A表** と、（必要があれば） **B表** を読み、シラバスで「授業内容」を参考にして、履修を希望するクラスを選んで下さい。（注1）



- ②具体的には、上記で選んだクラスの第1回目の授業に必ず出席して下さい。

*入学時に、ロシア語・スペイン語・イタリア語・朝鮮語・アラビア語のいずれかを第一外国語又は第二外国語として申請した学生には、初級（B）、初級（C）につき、それぞれ一回に限り優先権が与えられます。該当者は必ず、希望するクラスの初回の授業に遅刻することなく出席し、担当者にその旨申し出てください。

*外国語科目は履修者数の制限があるため第1回目の授業に遅刻・欠席すると、（注2）希望クラスを履修できなくなることがあります。クラスが指定されている（注3）場合でも、履修の意思がないものとみなされます。



- ③上記で選んだクラスの担当教員の指示に従って、授業時に履修の許可を得て下さい

（→暫定名簿に名前を書く）。（注4）

*開講後第1回目授業期間終了後（4月13日）に、「定員締切り情報」（P.214の補足説明参照）を西1号館正面入口掲示場に発表します。

*履修が許可されない場合は早急に別のクラスを選び、（注5）授業に出席して、履修許可を得て下さい。



- ④担当教員に履修が許可され、大学ポータルサイト上で履修登録を行えば、手続き完了となります。

（注1）法学科（中級）、政治学科（中・上級）、英語英米文化学科（中・上級）、理学部（中・上級）の英語は、指定者以外の学生は履修不可。

「クラス指定され、そのクラスの履修を希望する者」→ **B表** 参照不要。

「クラス指定されていない者（休学者等含）」→指定クラスがない場合は **A表・B表** を参考に履修クラスを選んで下さい。（履修を許可されない場合に備えて、いくつかの候補を選んでおくとういでしょう。）

（注2）〈Q.&A.〉のQ.10に補足説明があります。

（注3）〈Q.&A.〉のQ.1に補足説明があります。

（注4）大学ポータルサイト上で履修登録を行う前に、必ず担当教員の履修許可を得てください。担当教員の許可を受けずに履修登録し、事後承諾を求めようとしても、履修は許可されません。

（なお、〈Q.&A.〉のQ.6にも補足説明があります。）

（注5）なお、〈Q.&A.〉のQ.11、12に補足説明があります。

<履修上の注意>

- I. ここでは 1 年次学生が履修する、一般的なパターンを示しています。(例外的なものは備考参照。)
- II. 以下の表で履修を希望する外国語の履修方法を確認し、必ず「履修の手順」(P. 171) に従い履修して下さい。
- III. ここで説明する履修の方法は、全ての履修区分(必修科目・選択必修科目・自由科目・随意科目)にあてはまります。
- IV. 原則として、入学手続き時に届け出た外国語を履修して下さい。やむをえず届け出と異なった外国語の履修を希望する場合は、クラス指定されませんので、下記の各外国語欄(注 2)「指定されたクラスがない場合」の履修方法に従って希望外国語を履修して下さい。

* 表中の記号説明 「B」：ベーシック、「C」：コミュニケーション、「R」：リーディング

法 学 科 ・ 政 治 学 科		
英	中	入学手続き時の届け出の有無にかかわらず、全員に「R」1 クラス、「C」1 クラス、計 2 クラスを指定するので、指定されたクラスで履修すること。 (指定クラスは西 1 号館正面入口掲示場に掲示発表する。) (注 1) 中級クラスについては、「R」1 クラス、「C」1 クラス、計 2 クラスまで履修できる。 (注 2) 掲示場に指定されたクラスがない(休学者等含む)、あるいは、やむをえない理由によってクラス変更が必要な場合は、外国語教育研究センターに相談の上、指定されたクラスを選んで履修すること(上記「履修上の注意 IV」参照)。 (注 3) 英語能力試験の結果に基づいて習熟度別クラス編成をしているため、原則として指定されたクラスから別の中級クラスに移動することは認めない。 (注 4) 中級クラスの履修を基準とするが、中級クラスに加えて、法学部 B 表 記載の上級クラス(なるべく所属学科優先クラス)・上級特クラスから選んだクラスを履修することは可。 (注 5) 中級クラスの履修を基準とするが、中級クラスを履修せずに、法学部 B 表 記載の上級クラス(なるべく所属学科優先クラス)・上級特クラスから選んだクラスを履修することは可。 ※ 指定されたクラス以外のクラスに登録した場合、登録が取り消され、1 年間英語が履修できなくなることがある。
ド イ ッ 語	初 級	入学手続き時の届け出によりクラス指定された、「B」1 クラス、「C」1 クラス、計 2 クラスを履修すること。(指定クラスは西 1 号館正面入口掲示場に掲示発表する。) (注 1) 初級クラスについては、「B」1 クラス、「C」1 クラス、計 2 クラスまで履修できる。 (注 2) 指定されたクラスがない(休学者等含む)場合は、法学部 B 表 記載の初級クラス(なるべく所属学科優先クラス)から履修希望クラスを選んで履修すること(上記「履修上の注意 IV」参照)。 (注 3) 指定されたクラスを履修することが望ましいが、法学部 B 表 記載の初級クラス(なるべく所属学科優先クラス)から選んだクラスへの変更は可。

フ ラ ン ス 語	初 級	入学手続き時の届け出によりクラス指定された、「B」 1 クラス、「C」 1 クラス、計 2 クラスを履修すること。(指定クラスは西 1 号館正面入口掲示場に掲示発表する。) (注 1) 初級クラスについては、「B」 1 クラス、「C」 1 クラス、計 2 クラスまで履修できる。 (注 2) 指定されたクラスがない(休学者等含む)場合は、法学部 B 表記載の初級クラス(なるべく所属学科優先クラス)から履修希望クラスを選んで履修すること(上記「履修上の注意 IV」参照)。 (注 3) 指定されたクラスを履修することが望ましいが、法学部 B 表記載の初級クラス(なるべく所属学科優先クラス)から選んだクラスへの変更は可。
	中 国 語	入学手続き時の届け出によりクラス指定された、「B」 1 クラス、「C」 1 クラス、計 2 クラスを履修すること。(指定クラスは西 1 号館正面入口掲示場に掲示発表する。) (注 1) 初級クラスについては、「B」 1 クラス、「C」 1 クラス、計 2 クラスまで履修できる。 (注 2) 指定されたクラスがない(休学者等含む)場合は、法学部 B 表記載の初級クラス(なるべく所属学科優先クラス)から履修希望クラスを選んで履修すること(上記「履修上の注意 IV」参照)。 (注 3) 指定されたクラスを履修することが望ましいが、法学部 B 表記載の初級クラス(なるべく所属学科優先クラス)から選んだクラスへの変更は可。
ロシア語・スペイン語・イタリア語・朝鮮語・アラビア語については、全学部対象にクラスを開講しているため、「履修の手順」(P. 171)に従って履修すること。(ただし、開設クラス数が限られているため、時間割の制約等により履修できない場合もある。) また、スペイン語・イタリア語・朝鮮語については、一部の学科に対しクラス指定を行っている。指定クラスは西 1 号館正面入口の掲示場にて発表する。		

- *備考***
- 英語インテンシヴ・コース(クラス)の履修** : 英語能力試験(4月2日実施)の結果によって履修が決定された者のみ履修可。取得したインテンシヴ・クラスの単位は、通常のクラスの単位と同じ扱いを受ける。「特別な手続きが必要な場合」(P. 202～203)の指示、および「英語インテンシヴ・コースについて」(P. 203～204)参照。
 - 英語初級履修希望者** : 入学以前にドイツ語・フランス語・中国語が既習である学生については、履修を許可する場合があるので、「特別な手続きが必要な場合」(P. 202～203)の指示参照(許可なき履修は不可。また、入試の際英語で受験した者と、入学以前の既習外国語が英語のみの者の履修も不可)。
 - 入学以前に英語以外の外国語既習者** : 英語以外の外国語の中級以上のクラス履修を許可する場合があるので、「特別な手続きが必要な場合」(P. 202～203)の指示参照(許可なき履修は不可)。
 - 日本語履修にあたっての注意点** : 外国語科目として日本語を履修できる学生は、協定留学生および特に認められた者だけになっている。(P. 202～203 参照)
 - 入学手続き時に届け出た希望外国語の指定リストに自分の名前がない場合** : 指定クラス履修者リストを確認後、随時外国語教育研究センター事務室(中央教育研究棟 6 階)に相談に来ること。もしくは、自分で法学部 B 表から履修希望クラスを選んで履修すること(上記「履修上の注意 IV」参照)。

<履修上の注意>

- I. 「履修規定」をよく読んで履修グレード（級）を選択して下さい。
- II. 以下の表で履修を希望する外国語の履修方法を確認し、必ず「履修の手順」（P.171）に従い履修して下さい。
- III. ここで説明する履修の方法は、全ての履修区分（必修科目・選択必修科目・自由科目・随意科目）にあてはまります。
- IV. 履修経験の有無にかかわらず、この表の指示に従い履修して下さい（Q.&A.24 項参照）。

* 表中の記号説明 「C」：コミュニケーション、「R」：リーディング

法 学 科 ・ 政 治 学 科			
英 語	中 級	法 学 科	2 ～ 4 年次（ただし、中級の「R」2 単位、「C」2 単位を未修得者のみ履修可） 外国語教育研究センターに相談の上、指定されたクラスを履修すること（英語能力試験の結果に基づいて習熟度別クラスを編成しているため、別クラスへの移動は認めない）。
		政 治 学 科	
	上 級	法 学 科	2 ～ 4 年次 法学部 B 表記載の上級クラス（政治学科用のクラスを除く）から履修希望クラスを自由に選んで履修すること。
		政 治 学 科	2 ～ 4 年次 2 年生は、指定されたクラスで履修すること（英語能力試験の結果に基づいて習熟度別クラスを編成しているため、別クラスへの移動は認めない）。 3 ・ 4 年生は、外国語教育研究センターに相談の上、指定されたクラスを履修すること。
ド イ ツ 語	初 級		2 ～ 4 年次 法学部 B 表記載の初級クラスから履修希望クラスを自由に選んで履修すること。
	中 級		2 ～ 4 年次 法学部 B 表記載の中級クラスから履修希望クラスを自由に選んで履修すること。
	上 級		2 ～ 4 年次 法学部 B 表記載の上級クラスから履修希望クラスを自由に選んで履修すること。
フ ラ ン ス 語	初 級		2 ～ 4 年次 法学部 B 表記載の初級クラスから履修希望クラスを自由に選んで履修すること。
	中 級		2 ～ 4 年次 法学部 B 表記載の中級クラスから履修希望クラスを自由に選んで履修すること。
	上 級		2 ～ 4 年次 法学部 B 表記載の上級クラスから履修希望クラスを自由に選んで履修すること。
中 国 語	初 級		2 ～ 4 年次 法学部 B 表記載の初級クラスから履修希望クラスを自由に選んで履修すること。
	中 級		2 ～ 4 年次 法学部 B 表記載の中級クラスから履修希望クラスを自由に選んで履修すること。
	上 級		2 ～ 4 年次 法学部 B 表記載の上級クラスから履修希望クラスを自由に選んで履修すること。

ロシア語・スペイン語・イタリア語・朝鮮語・アラビア語については、全学部対象にクラスを開講しているので、「履修の手順」(P.171)に従って履修すること。(ただし、開設クラス数が限られているため、時間割の制約等により履修できない場合もある。)

また、スペイン語・イタリア語・朝鮮語については、一部の学科に対しクラス指定を行っている。指定クラスは西1号館正面入口の掲示場にて発表する。

- *備考***
1. **英語インテンシヴ・コース(クラス)の履修** : 英語能力試験(4月2日実施)の結果によって履修が決定された者のみ履修可。「特別な手続きが必要な場合」(P. 202 ~ 203)の指示、および「英語インテンシヴ・コースについて」(P. 203 ~ 204)参照。取得したインテンシヴ・クラスの単位は、通常クラスの単位と同じ扱いを受ける。
 2. **英語初級履修希望者** : 入学以前にドイツ語・フランス語・中国語が既習で、過去に英語単位未取得の学生については、履修を許可する場合があるので、「特別な手続きが必要な場合」(P. 202 ~ 203)の指示参照(許可なき履修は不可。また、入試の際、英語で受験した者と、入学以前の既習外国語が英語のみの者の履修も不可)。
 3. **本学の単位未取得で、入学以前に英語以外の外国語が既習の中級以上のクラス履修希望者**
: 英語以外の外国語の中級以上のクラス履修を許可する場合があるので、「特別な手続きが必要な場合」(P. 202 ~ 203)の指示参照(許可なき履修は不可)。
 4. **日本語履修にあたっての注意点** : 外国語科目として日本語を履修できる学生は、協定留学生および特に認められた者だけになっている。(P. 202 ~ 203 参照)

<注意>

I. 履修規定をよく読んで履修グレード（級）を選択して下さい。

II. A表参照の上で、履修希望クラスを選び、必ず「履修の手順」(P.171)に従い履修して下さい。

*表中の記号説明 「B」：ベーシック、「C」：コミュニケーション、「R」：リーディング

語 学	グ レ ード	内 容	履修可能なクラス		備 考	
			各学科クラス			
英 語	中 級	R	[法学科] 法Ⅰ A～H	指定されたクラスを履修すること。	初級 B も開講されている。 * A 表 末尾 「備考 2」 参照 ・ 法学科 1 年次の学生は、 中級間のクラス移動が認められない。指定された クラスを履修すること。 ・ 政治学科 1 年次・ 2 年次 の学生は、それぞれ中級 間および上級間のクラス 移動が認められない。 指定されたクラスを履修 すること。	
			[政治学科] 政Ⅰ A～H			
		C	[法学科] 法Ⅰ A～H	指定されたクラスを履修すること。		
			[政治学科] 政Ⅰ A～H			
	上 級	R	[法学科] 法Ⅱ A～G	所属学科優先クラス以外の上級 リーディングも履修可（ただし優先は されない）※		
			[政治学科] 政Ⅱ A～H	指定されたクラスを履修すること。		
		C	[法学科] 法Ⅱ A～C	所属学科優先クラス以外の上級 コミュニケーションも履修可（ただし 優先はされない）※		
			[政治学科] 政Ⅱ A～H	指定されたクラスを履修すること。		

※ただし、政治学科および理学部指定クラスは履修できない。また、英語英米文化学科向けの英語は、内容や求められるものが非常に高度であるため、英語英米文化学科以外の学生は原則として履修不可。

語 学	グ レ ード	内 容	履修を申し込むことが可能なクラス（以下から選んで履修）		備 考
			各学科 優先クラス	優先されないクラス	
ド イ ツ 語	初 級	B	[法学科] 1～4	所属学科優先クラス以外の全ての 初級ベーシック※	
			[政治学科] 1		
		C	[法学科] 1～3	所属学科優先クラス以外の全ての 初級コミュニケーション※	
			[政治学科] 23		
	中 級	R	なし	全ての中級リーディング※	
		C	なし	全ての中級コミュニケーション※	
	上 級	R	なし	全ての上級リーディング	
		C	なし	全ての上級コミュニケーション	

※ドイツ語圏文化学科向けのドイツ語は、内容や求められるものが非常に高度であるため、受講を希望する他学科の学生はドイツ語圏文化学科事務室に相談すること。

語学	グレード	内 容	履修を申し込むことが可能なクラス（以下から選んで履修）		備 考
			各学科 優先クラス	優先されないクラス	
フ ラ ン ス 語	初 級	B	〔法学科〕 1～3	所属学科優先クラス以外の全ての 初級ベーシック※	
			〔政治学科〕 4		
		C	〔法学科〕 1～3	所属学科優先クラス以外の全ての 初級コミュニケーション※	
			〔政治学科〕 4		
	中 級	R	なし	全ての中級リーディング※	
		C	なし	全ての中級コミュニケーション※	
	上 級	R	なし	全ての上級リーディング	
		C	なし	全ての上級コミュニケーション	

※フランス語圏文化学科向けのフランス語は、内容や求められるものが非常に高度であるため、受講を希望する他学科の学生はフランス語圏文化学科事務室に相談すること。

語学	グレード	内容	履修を申し込むことが可能なクラス（以下から選んで履修）		備 考	
			各学科 優先クラス	優先されないクラス		
中国語	初級	B	[法学科] 1～6	所属学科優先クラス以外の全ての初級ベーシック		
			[政治学科] 7・8			
		C	[法学科] 1～6	所属学科優先クラス以外の全ての初級コミュニケーション		
			[政治学科] 7・8			
	中級	R	なし	全ての中級リーディング		
			C	なし		全ての中級コミュニケーション
		上級	R	なし		全ての上級リーディング
			C	なし		全ての上級コミュニケーション

ロシア語・スペイン語・イタリア語・朝鮮語・アラビア語は、全学部対象にクラスを開講している。
また、スペイン語・イタリア語・朝鮮語については、一部の学科に対しクラス指定を行っている。

- *備考***
- 英語「R集1TA～C、C集1WA～C」はインテンシヴ・クラスとして開講されている。取得したインテンシヴ・クラスの単位は、通常クラスの単位と同じ扱いを受ける。
 - 英語・ドイツ語・フランス語・中国語は1科目4単位のセミナーも開講している。英語セミナーは、英語上級または上級特のうち4単位以上を修得した学生が履修できる。ドイツ語・フランス語・中国語セミナーは中級以上のうち2単位以上を修得した学生が履修できる。
 - 初めて学ぶ人を対象に、ドイツ語母語話者・フランス語母語話者の教員が担当するドイツ語・フランス語初級コミュニケーションのクラスが1科目以上開講されている。話すことや聞くことに重点を置いた全学部対象のクラスである。

<履修上の注意>

- I. ここでは 1 年次学生が履修する、一般的なパターンを示しています。(例外的なものは備考参照。)
- II. 以下の表で履修を希望する外国語の履修方法を確認し、必ず「履修の手順」(P.171) に従い履修して下さい。
- III. ここで説明する履修の方法は、全ての履修区分(必修科目・選択必修科目・自由科目・随意科目)にあてはまります。
- IV. 入学手続き時に届け出していない外国語の履修を希望する場合は、クラス指定されませんので、下記の各外国語欄(注 2)「指定されたクラスがない場合」の履修方法に従って希望外国語を履修して下さい。
- V. 経済学部 **B 表** に記載のない科目やクラスは履修できないので注意して下さい。

*表中の記号説明 「B」：ベーシック、「C」：コミュニケーション、「R」：リーディング

経 済 学 科 ・ 経 営 学 科		
英 語	中 級	なるべく入学手続き時の届け出により指定された「R」1 クラス、「C」1 クラス、計 2 クラスを履修すること。(指定クラスは西 1 号館正面入口掲示場に掲示発表。) (注 1) 中級クラスで履修できるのは、計 2 クラスまでである。 (注 2) 指定されたクラスがない(休学者等)場合は、経済学部 B 表 記載の中級クラス(なるべく所属学科優先クラス)から履修希望クラスを選んで履修すること(上記「履修上の注意 IV」参照)。 (注 3) 指定されたクラスを履修することが望ましいが、経済学部 B 表 記載の中級、または上級クラス(なるべく所属学科優先クラス)への変更は可。 (注 4) 必修専門科目と重複する場合は、専門科目を優先すること。
ド イ ッ 語	初 級	なるべく入学手続き時の届け出により指定された、「B」1 クラス、「C」1 クラス、計 2 クラスを履修すること。(指定クラスは西 1 号館正面入口掲示場に掲示発表。) (注 1) 初級クラスについては、「B」1 クラス、「C」1 クラス、計 2 クラスまで履修できる。 (注 2) 指定されたクラスがない場合(届け出を行わなかった者、休学者等)は、経済学部 B 表 記載の初級クラス(なるべく所属学科優先クラス)から履修希望クラスを選んで履修すること(上記「履修上の注意 IV」参照)。 (注 3) 指定されたクラスを履修することが望ましいが、経済学部 B 表 記載の初級クラスから選んだクラスへの変更は可。 (注 4) 必修専門科目と重複する場合は、専門科目を優先すること。

フ ラ ン ス 語	初 級	なるべく入学手続き時の届け出により指定された、「B」1クラス、「C」1クラス、計2クラスを履修すること。(指定クラスは西1号館正面入口掲示場に掲示発表。) (注1) 初級クラスについては、「B」1クラス、「C」1クラス、計2クラスまで履修できる。 (注2) 指定されたクラスがない場合(届け出たにもかかわらず、指定にもれてしまった者、または届け出を行わなかった者、休学者等)は、経済学部B表記載の初級クラス(なるべく所属学科優先クラス)から履修希望クラスを選んで履修すること(上記「履修上の注意 IV」参照)。 (注3) 指定されたクラスを履修することが望ましいが、経済学部B表記載の初級クラスから選んだクラスへの変更は可。 (注4) 必修専門科目と重複する場合は、専門科目を優先すること。
	中 国 語	なるべく入学手続き時の届け出により指定された、「B」1クラス、「C」1クラス、計2クラスを履修すること。(指定クラスは西1号館正面入口掲示場に掲示発表。) (注1) 初級クラスについては、「B」1クラス、「C」1クラス、計2クラスまで履修できる。 (注2) 指定されたクラスがない場合(届け出たにもかかわらず、指定にもれてしまった者、または届け出を行わなかった者、休学者等)は、経済学部B表記載の初級クラス(なるべく所属学科優先クラス)から履修希望クラスを選んで履修すること(上記「履修上の注意 IV」参照)。 (注3) 指定されたクラスを履修することが望ましいが、経済学部B表記載の初級クラスから選んだクラスへの変更は可。 (注4) 必修専門科目と重複する場合は、専門科目を優先すること。

ロシア語・スペイン語・イタリア語・朝鮮語・アラビア語については、全学部対象にクラスを開講しているため、「履修の手順」(P. 171)に従って履修すること。(ただし、開設クラス数が限られているため、時間割の制約等により履修できない場合もある。)

また、スペイン語・イタリア語・朝鮮語については、一部の学科に対しクラス指定を行っている。指定クラスは西1号館正面入口の掲示場にて発表する。

- *備考***
- 英語インテンシヴ・コース(クラス)の履修** : 英語能力試験(4月2日実施)の結果によって履修が決定された者のみ履修可。「特別な手続きが必要な場合」(P. 202～203)の指示、および「英語インテンシヴ・コースについて」(P. 203～204)参照。
 - 英語初級履修希望者** : 入学以前にドイツ語・フランス語・中国語が既習である学生については、履修を許可する場合があるので、「特別な手続きが必要な場合」(P. 202～203)の指示を参照すること(許可なき履修は不可。また、入試の際、英語で受験した者と、入学以前の既習外国語が英語のみの者の履修も不可)。
 - 入学以前に英語以外の外国語既習者** : 英語以外の外国語の中級以上のクラス履修を許可する場合があるので、「特別な手続きが必要な場合」(P. 202～203)の指示参照(許可なき履修は不可)。
 - 日本語履修にあたっての注意点** : 外国語科目として日本語を履修できる学生は、外国人学生特別入学試験によって入学した学生、協定留学生および特に認められた者だけになっている。(P. 202～203参照)
 - 入学手続き時に届け出た希望外国語の指定リストに自分の名前がない場合** : 指定クラス履修者リストを確認後、随時外国語教育研究センター事務室(中央教育研究棟6階)に相談に来ること。もしくは、自分で経済学部B表から履修希望クラスを選んで履修すること(上記「履修上の注意 IV」参照)。

＜履修上の注意＞

- I. 「履修規定」をよく読んで履修グレード（級）を選択して下さい。
- II. 以下の表で履修を希望する外国語の履修方法を確認し、必ず「履修の手順」（P.171）に従い履修して下さい。
- III. ここで説明する履修の方法は、全ての履修区分（必修科目・選択必修科目・自由科目・随意科目）にあてはまります。
- IV. 履修経験の有無にかかわらず、この表の指示に従い履修して下さい（Q.&A.24 項参照）。
- V. 経済学部 **B 表**に記載のない科目やクラスは履修できないので注意して下さい。

経 済 学 科 ・ 経 営 学 科		
英 語	中 級	2 ～ 4 年次 経済学部 B 表 記載の中級クラスから履修希望クラスを自由を選んで履修すること。
	上 級	2 ～ 4 年次 経済学部 B 表 記載の上級クラス（なるべく所属学科優先クラス・上級特クラス）から履修希望クラスを選んで履修すること。
ド イ ツ 語	初 級	2 ～ 4 年次 経済学部 B 表 記載の初級クラスから履修希望クラスを自由を選んで履修すること。
	中 級	2 ～ 4 年次 経済学部 B 表 記載の中級クラスから履修希望クラスを自由を選んで履修すること。
	上 級	2 ～ 4 年次 経済学部 B 表 記載の上級クラスから履修希望クラスを自由を選んで履修すること。
フ ラ ン ス 語	初 級	2 ～ 4 年次 経済学部 B 表 記載の初級クラスから履修希望クラスを自由を選んで履修すること。
	中 級	2 ～ 4 年次 経済学部 B 表 記載の中級クラスから履修希望クラスを自由を選んで履修すること。
	上 級	2 ～ 4 年次 経済学部 B 表 記載の上級クラスから履修希望クラスを自由を選んで履修すること。
中 国 語	初 級	2 ～ 4 年次 経済学部 B 表 記載の初級クラスから履修希望クラスを自由を選んで履修すること。
	中 級	2 ～ 4 年次 経済学部 B 表 記載の中級クラスから履修希望クラスを自由を選んで履修すること。
	上 級	2 ～ 4 年次 経済学部 B 表 記載の上級クラスから履修希望クラスを自由を選んで履修すること。
ロシア語・スペイン語・イタリア語・朝鮮語・アラビア語については、全学部対象にクラスを開講しているため、「履修の手順」（P.171）に従って履修すること。（ただし、開設クラス数が限られているため、時間割の制約等により履修できない場合もある。） また、スペイン語・イタリア語・朝鮮語については、一部の学科に対しクラス指定を行っている。指定クラスは西 1 号館正面入口の掲示場にて発表する。		

- *備考***
1. **英語インテンシヴ・コース（クラス）の履修** : 英語能力試験（4月2日実施）の結果によって履修が決定された者のみ履修可。「特別な手続きが必要な場合」（P. 202～203）の指示、および「英語インテンシヴ・コースについて」（P. 203～204）参照。
 2. **英語初級履修希望者** : 入学以前にドイツ語・フランス語・中国語が既習で、過去に英語単位未取得の学生については、履修を許可する場合があるので、「特別な手続きが必要な場合」（P. 202～203）の指示を参照すること（許可なき履修は不可。また、入試の際、英語で受験した者と、入学以前の既習外国語が英語のみの者の履修も不可）。
 3. **本学の単位未取得で、入学以前に英語以外の外国語が既習の中級以上のクラス履修希望者** : 英語以外の外国語の中級以上のクラス履修を許可する場合があるので、「特別な手続きが必要な場合」（P. 202～203）の指示参照（許可なき履修は不可）。
 4. **日本語履修にあたっての注意点** : 外国語科目として日本語を履修できる学生は、外国人学生特別入学試験によって入学した学生、協定留学生および特に認められた者だけになっている。（P. 202～203 参照）

<注意>

- I. 履修規定をよく読んで履修グレード（級）を選択して下さい。
 II. **A表**参照の上で、履修希望クラスを選び、必ず「履修の手順」(P.171)に従い履修して下さい。

*表中の記号説明 「B」：ベーシック、「C」：コミュニケーション、「R」：リーディング

語学	グレード	内容	履修を申し込むことが可能なクラス（以下から選んで履修）		備 考
			各学科 優先クラス	優先されないクラス	
英	中級	R	[経済学科] 済Ⅰ A～H	所属学科優先クラス以外の全ての 中級リーディング※ 1	初級 B も開講されている。 * A 表 末尾 「備考 2」 参照
			[経営学科] 営Ⅰ A～H		
	級	C	[経済学科] 済Ⅰ A～H	所属学科優先クラス以外の全ての 中級コミュニケーション※ 1	
			[経営学科] 営Ⅰ A～H		
語	上級	R	[経済学科] 済Ⅱ A～D	所属学科優先クラス以外の全ての 上級リーディング※ 2	
			[経営学科] 営Ⅱ A～D		
	級	C	[経済学科] 済Ⅱ A～D	所属学科優先クラス以外の全ての 上級コミュニケーション※ 2	
			[経営学科] 営Ⅱ A～D		

※1 英語英米文化学科、法学部法学科・政治学科、理学部向けのクラスは履修不可。

※2 英語英米文化学科、法学部政治学科、理学部向けのクラスは履修不可。

語学	グレード	履修を申し込むことが可能なクラス（以下から選んで履修）		備考	
		各学科 優先クラス	優先されないクラス		
ドイツ語	初級	B	[経済学科] 5	所属学科優先クラス以外の全ての 初級ベーシック※	
			[経営学科] 5		
		C	[経済学科] 1		所属学科優先クラス以外の全ての 初級コミュニケーション※
			[経営学科] 23		
	中級	R	なし	全ての中級リーディング※	
		C	なし	全ての中級コミュニケーション※	
	上級	R	なし	全ての上級リーディング	
		C	なし	全ての上級コミュニケーション	

※ドイツ語圏文化学科向けのドイツ語は、内容や求められるものが非常に高度であるため、受講を希望する他学科の学生はドイツ語圏文化学科事務室に相談すること。

語 学	グ レ ード	内 容	履修を申し込むことが可能なクラス（以下から選んで履修）		備 考
			各学科 優先クラス	優先されないクラス	
フ ラ ン ス 語	初 級	B	[経済学科] 5 [経営学科] 6・7	所属学科優先クラス以外の全ての 初級ベーシック※	
		C	[経済学科] 5 [経営学科] 6・7	所属学科優先クラス以外の全ての 初級コミュニケーション※	
	中 級	R	なし	全ての中級リーディング※	
		C	なし	全ての中級コミュニケーション※	
	上 級	R	なし	全ての上級リーディング	
		C	なし	全ての上級コミュニケーション	

※フランス語圏文化学科向けのフランス語は、内容や求められるものが非常に高度であるため、受講を希望する他学科の学生はフランス語圏文化学科事務室に相談すること。

語 学	グ レ ード	内 容	履修を申し込むことが可能なクラス（以下から選んで履修）		備 考
			各学科 優先クラス	優先されないクラス	
中 国 語	初 級	B	[経済学科] 9・10 [経営学科] 11～13	所属学科優先クラス以外の全ての 初級ベーシック	
		C	[経済学科] 9・10 [経営学科] 11～13	所属学科優先クラス以外の全ての 初級コミュニケーション	
	中 級	R	なし	所属学科優先クラス以外の全ての 中級リーディング	
		C	なし	所属学科優先クラス以外の全ての 中級コミュニケーション	
	上 級	R	なし	全ての上級リーディング	
		C	なし	全ての上級コミュニケーション	

ロシア語・スペイン語・イタリア語・朝鮮語・アラビア語は、全学部対象にクラスを開講している。
また、スペイン語・イタリア語・朝鮮語については、一部の学科に対しクラス指定を行っている。

- *備考***
- 英語「R集1TA～C、C集1WA～C」はインテンシヴ・クラスとして開講されている。
 - 英語・ドイツ語・フランス語・中国語は1科目4単位のセミナーも開講している。英語セミナーは、英語上級または上級特のうち4単位以上を修得した学生が履修できる。ドイツ語・フランス語・中国語セミナーは中級以上のうち2単位以上を修得した学生が履修できる。
 - 初めて学ぶ人を対象に、ドイツ語母語話者・フランス語母語話者の教員が担当するドイツ語・フランス語初級コミュニケーションのクラスが1科目以上開講されている。話すことや聞くことに重点を置いた全学部対象のクラスである。

<履修上の注意>

- I. ここでは 1 年次学生が履修する、一般的なパターンを示しています。(例外的なものは備考参照。)
- II. 以下の表で履修を希望する外国語の履修方法を確認し、必ず「履修の手順」(P.171) に従い履修して下さい。
- III. ここで説明する履修の方法は、全ての履修区分(必修科目・選択必修科目・自由科目・随意科目)にあてはまります。
- IV. 原則として、入学手続き時に届け出た外国語を履修して下さい。やむをえず届け出と異なった外国語の履修を希望する場合はクラス指定されませんので、下記の各外国語欄(注 2)「指定されたクラスがない場合」の履修方法に従って希望外国語を履修して下さい。

* 表中の記号説明 「B」：ベーシック、「C」：コミュニケーション、「R」：リーディング

哲学科・史学科・日本語日本文学科・英語英米文化学科・ドイツ語圏文化学科・フランス語圏文化学科・心理学科・教育学科		
英 語	中	哲学科：入学手続き時の届け出により指定された「R」2 クラス、「C」1 クラス、計 3 クラスを履修すること。 (指定クラスは西 1 号館正面入口掲示場に掲示発表する。) 英語英米文化学科：指定された「R」2 クラス、「C」2 クラス、計 4 クラスを履修することを基準とする。 (指定クラスは英語英米文化学科のガイダンスもしくは英語英米文化学科事務室の掲示板上で発表する。) 上記 2 学科以外：入学手続き時の届け出により指定された「R」1 クラス、「C」1 クラス、計 2 クラスを履修すること。 (指定クラスは西 1 号館正面入口掲示場に掲示発表する。ただし、フランス語圏文化学科の指定クラスはフランス語圏文化学科事務室の掲示板上にて発表する。)
	級	(注 1) 中級クラスで履修できるのは、上記の指定されたクラス数までである。 (注 2) 指定されたクラスがない場合(休学者等含む)は、英語英米文化学科・フランス語圏文化学科の学生は所属学科事務室の指示を受け、その他の学科学生は、文学部 B 表 記載の中級クラス(なるべく所属学科優先クラス)から履修希望クラスを選んで履修すること(上記「履修上の注意 IV」参照)。 (注 3) クラス指定された者は、英語英米文化学科・フランス語圏文化学科の学生の場合は、必ず指定クラスで履修すること。(中級クラス間での移動は認めない。) (注 4) 指定されたクラスを履修することを基本とするが、英語英米文化学科・フランス語圏文化学科以外の学生の場合は、文学部 B 表 記載の文学部各学科優先の中級クラス(なるべく所属学科優先クラス)から選んだクラスへの変更は可。 (注 5) 中級クラスの履修を基準とするが、英語英米文化学科以外の学生の場合は、中級クラスを履修せずに、文学部 B 表 記載の上級クラスから選んだクラスを履修することは可。 (注 6) 中級クラスの履修を基準とするが、中級クラスに加えて、文学部 B 表 記載の上級クラスから選んだクラスを履修することは可。 (注 7) 哲学科学生で、英語を必修外国語(Ⅱ)とする者は、指定された中級クラスのうち、「R」1 クラス、「C」1 クラス、計 2 クラスを履修すること。

ドイツ語	初級	ドイツ語圏文化学科：指定された「B」1クラス、「C」2クラス、計3クラスを履修することを基準とする。ただし、入学以前にドイツ語が既習である学生は、中級以上のクラスへの変更、もしくはドイツ語（初級）の代わりにドイツ語圏文化学科の指定する専門科目（演習）を履修することを許可する場合がある。いずれかを希望する場合は、4月5日の学科ガイダンス後に行われるドイツ語既習者向け個別ガイダンスに出席すること。 （指定クラスはドイツ語圏文化学科事務室の掲示板にて発表する。） ドイツ語圏文化学科以外：入学手続き時の届け出によりクラス指定された「B」1クラス、「C」1クラス、計2クラスを履修すること。 （指定クラスは西1号館正面入口掲示場に掲示発表する。）
	初級	（注1）初級クラスで履修できるのは、上記の指定されたクラス数までである。 （注2）指定されたクラスがない場合（休学者等含む）は、ドイツ語圏文化学科学生はドイツ語圏文化学科事務室の指示を受け、その他の学科学生は、文学部B表記載の初級クラス（なるべく所属学科優先クラス）から履修希望クラスを選んで履修すること（上記「履修上の注意 IV」参照）。 （注3）指定されたクラスを履修することが望ましいが、ドイツ語圏文化学科以外の学生の場合は、文学部B表記載の初級クラス（なるべく所属学科優先クラス）から選んだクラスへの変更は可。 （注4）哲学科学生でドイツ語を必修外国語（I）とする者は、指定された「B」1クラス、「C」1クラス、計2クラスのみを履修し、次年度以降に中級4クラス（「R」3クラスは必修）を履修すること。
フランス語	初級	フランス語圏文化学科：指定された「B」1クラス、「C」2クラス、計3クラスを履修することを基準とするが、入学以前にフランス語が既習である学生は、フランス語圏文化学科事務室に申し出れば（受付期間はガイダンスで指示）、中級以上のクラスへの変更を許可する場合もある。 （指定クラスはフランス語圏文化学科事務室の掲示板にて発表する。） フランス語圏文化学科以外：入学手続き時の届け出によりクラス指定された「B」1クラス、「C」1クラス、計2クラスを履修すること。 （指定クラスは西1号館正面入口掲示場に掲示発表する。）
	初級	（注1）初級クラスで履修できるのは、上記の指定されたクラス数までである。 （注2）指定されたクラスがない場合（休学者等含む）は、フランス語圏文化学科学生はフランス語圏文化学科事務室の指示を受け、その他の学科学生は、文学部B表記載の初級クラス（なるべく所属学科優先クラス）から履修希望クラスを選んで履修すること（上記「履修上の注意 IV」参照）。 （注3）指定されたクラスを履修することが望ましいが、フランス語圏文化学科以外の学生の場合は、文学部B表記載の初級クラス（なるべく所属学科優先クラス）から選んだクラスへの変更は可。 （注4）哲学科学生でフランス語を必修外国語（I）とする者は、指定された「B」1クラス、「C」1クラス、計2クラスのみを履修し、次年度以降に中級4クラス（「R」3クラスは必修）を履修すること。

中 国 語 初 級	全学科：入学手続き時の届け出によりクラス指定された、「B」 1 クラス、「C」 1 クラス、計 2 クラスを履修すること。 (指定クラスは西 1 号館正面入口掲示場に掲示発表する。) (注 1) 初級クラスについては、「B」 1 クラス、「C」 1 クラス、計 2 クラスまで履修できる。 (注 2) 指定されたクラスがない場合（休学者等含む）は、文学部 B 表 記載の初級クラス（なるべく所属学科優先クラス）から履修希望クラスを選んで履修すること（上記「履修上の注意 IV」参照）。 (注 3) 指定されたクラスを履修することが望ましいが、文学部 B 表 記載の初級クラス（なるべく所属学科優先クラス）から選んだクラスへの変更は可。
ロ シ ア 語 ス ペ イ ン 語 イ タ リ ア 語 朝 鮮 語 ア ラ ビ ア 語	全学部対象にクラスを開講しているので、「履修の手順」(P. 171) に従って履修すること。 また、スペイン語・イタリア語・朝鮮語については、一部の学科に対しクラス指定を行っている。指定クラスは西 1 号館正面入口の掲示場にて発表する。 (注 1) 初級クラスについては、「B」 1 クラス、「C」 1 クラス、計 2 クラスまで履修できる。 (注 2) 開設クラス数が限られているため、履修できない場合がある。必修外国語として履修を希望する際は、その点を熟慮すること。 (注 3) 時間割の制約等により、必修外国語として履修できない場合は、すみやかに他の外国語を選択すること。

- *備考***
- 英語インテンシヴ・コースの履修**： 英語能力試験（4 月 2 日実施）の結果によって履修が決定された者のみ履修可。「特別な手続きが必要な場合」(P. 202 ～ 203) の指示、および「英語インテンシヴ・コースについて」(P. 203 ～ 204) 参照。
 - 英語初級履修希望者**： 入学以前にドイツ語・フランス語・中国語が既習である学生については、履修を許可する場合があるので、「特別な手続きが必要な場合」(P. 202 ～ 203) の指示を参照すること（許可なき履修は不可。また、入試の際、英語で受験した者と、入学以前の既習外国語が英語のみの者の履修も不可）。
 - 入学以前に英語以外の外国語既習者**： 英語以外の外国語の中級以上のクラス履修を許可する場合があるので、「特別な手続きが必要な場合」(P. 202 ～ 203) の指示参照（許可なき履修は不可）。
 - 日本語履修にあたっての注意点**： 外国語科目として日本語を履修できる学生は、外国人学生特別入学試験によって入学した学生、協定留学生および特に認められた者だけになっている。(P. 202 ～ 203 参照)
 - 入学手続き時に届け出た希望外国語の指定リストに自分の名前がない場合**： 指定クラス履修者リストを確認後、随時外国語教育研究センター事務室（中央教育研究棟 6 階）に相談に来ること。もしくは、自分で文学部 **B 表** から履修希望クラスを選んで履修すること（上記「履修上の注意 IV」参照）。

＜履修上の注意＞

- I. 「履修規定」をよく読んで履修グレード（級）を選択して下さい。
- II. 以下の表で履修を希望する外国語の履修方法を確認し、必ず「履修の手順」(P. 171) に従い履修して下さい。
- III. ここで説明する履修の方法は、全ての履修区分（必修科目・選択必修科目・自由科目・随意科目）にあてはまります。
- IV. 前年度までに取得すべき単位が残っている学生も、履修経験の有無にかかわらず、この表の指示に従い履修して下さい（Q.&A. 24 項参照）。

*表中の記号説明 「C」：コミュニケーション、「R」：リーディング

哲学科・史学科・日本語日本文学科・英語英米文化学科・ドイツ語圏文化学科・フランス語圏文化学科・心理学科・教育学科	
英 語	中 級 2～4年次 英語英米文化学科：必修科目としての履修については、英語英米文化学科事務室の指示に従うこと。 英語英米文化学科以外：文学部B表記載の中級クラスから履修希望クラスを自由に選んで履修すること。
	上 級 2年次 哲学科：指定された「R」2クラス、「C」1クラス、計3クラスを履修すること。（指定クラスは西1号館正面入口掲示場に掲示発表する。） 哲学科以外：指定された「R」1クラス、「C」1クラス、計2クラスを履修すること。（指定クラスは西1号館正面入口掲示場に掲示発表する。ただし、英語英米文化学科の指定クラスは英語英米文化学科事務室の掲示板にて、フランス語圏文化学科の指定クラスはフランス語圏文化学科事務室の掲示板にて発表する。） （注1）指定されたクラスがない場合（休学者等含む）は、英語英米文化学科・フランス語圏文化学科の学生は所属学科事務室の指示に従い、その他の学科学生は、文学部B表記載の上級クラス（なるべく所属学科優先クラス）から履修希望クラスを選んで履修すること。 （注2）指定されたクラスを履修することが望ましいが、英語英米文化学科・フランス語圏文化学科以外の学生の場合は、文学部B表記載の上級クラス（なるべく所属学科優先クラス・上級特クラス）から選んだクラスへの変更は可。 （注3）文学部B表記載の上級クラスであれば指定されたクラスに加えて、他のクラスを履修することも可。 （注4）哲学科学生で英語を必修外国語（Ⅱ）とする者は、指定された上級クラスから計2クラスを履修すること（『履修要覧』哲学科外国語科目履修規定に従うこと）。
日 本 語	中 級 3・4年次 英語英米文化学科：必修科目としての履修については、英語英米文化学科事務室の指示に従い、その他の履修区分については、文学部B表記載の上級クラスから履修希望クラスを選んで履修すること。 英語英米文化学科以外：文学部B表記載の上級クラスから履修希望クラスを自由に選んで履修すること。

ドイツ語	初級	2～4年次 ドイツ語圏文化学科：必修科目としての履修については、ドイツ語圏文化学科事務室の指示に従い、その他の履修区分については、文学部 B表 記載の初級クラス（ドイツ語圏文化学科用クラスは除く）から履修希望クラスを選んで履修すること。 ドイツ語圏文化学科以外：文学部 B表 記載の初級クラス（ドイツ語圏文化学科用クラスは除く）から履修希望クラスを自由に選んで履修すること。
	中級	2年次 ドイツ語圏文化学科：必修科目としての履修については、クラス指定を行うので、ドイツ語圏文化学科事務室の指示に従い、その他の履修区分については、文学部 B表 記載の中級クラス（ドイツ語圏文化学科用クラスは除く）から履修希望クラスを選んで履修すること。 ドイツ語圏文化学科以外：文学部 B表 記載の中級クラス（ドイツ語圏文化学科用クラスは除く）から履修希望クラスを自由に選んで履修すること。
	上級	3・4年次 ドイツ語圏文化学科：必修科目としての履修については、ドイツ語圏文化学科事務室の指示に従い、その他の履修区分については、文学部 B表 記載の中級クラス（ドイツ語圏文化学科用クラスは除く）から履修希望クラスを自由に選んで履修すること。 ドイツ語圏文化学科以外：文学部 B表 記載の中級クラス（ドイツ語圏文化学科用クラスは除く）から履修希望クラスを自由に選んで履修すること。
	初級	2～4年次 文学部 B表 記載の上級クラスから履修希望クラスを自由に選んで履修すること。
	中級	2～4年次 フランス語圏文化学科：必修科目としての履修については、クラス指定を行うので、フランス語圏文化学科事務室の指示に従うこと。 フランス語圏文化学科以外：文学部 B表 記載の初級クラス（フランス語圏文化学科用クラスは除く）から履修希望クラスを自由に選んで履修すること。
フランス語	中級	2年次 フランス語圏文化学科：必修科目としての履修については、クラス指定を行うので、フランス語圏文化学科事務室の指示に従うこと。 フランス語圏文化学科以外：文学部 B表 記載の中級クラス（フランス語圏文化学科用クラスは除く）から履修希望クラスを自由に選んで履修すること。
	上級	3・4年次 フランス語圏文化学科：必修科目としての履修については、クラス指定を行うので、フランス語圏文化学科事務室の指示に従うこと。 フランス語圏文化学科以外：文学部 B表 記載の中級クラス（フランス語圏文化学科用クラスは除く）から履修希望クラスを自由に選んで履修すること。
	初級	2～4年次 文学部 B表 記載の上級クラスから履修希望クラスを自由に選んで履修すること。
	中級	2～4年次 文学部 B表 記載の上級クラスから履修希望クラスを自由に選んで履修すること。

中 国 語	初 級	2～4年次 全学科：文学部B表記載の初級クラスから履修希望クラスを自由に選んで履修すること。
	中 級	2～4年次 全学科：文学部B表記載の中級クラスから履修希望クラスを自由に選んで履修すること。
	上 級	2～4年次 文学部B表記載の上級クラスから履修希望クラスを自由に選んで履修すること。
ロシア語 スペイン語 イタリア語 朝鮮語 アラビア語		全学部対象にクラスを開講しているので、「履修の手順」(P. 171)に従って履修すること。 また、スペイン語・イタリア語・朝鮮語については、一部の学科に対しクラス指定を行っている。指定クラスは西1号館正面入口の掲示場にて発表する。 (注1) 初級クラスについては「B」1クラス、「C」1クラス、計2クラスまで履修できる。 (注2) 開設クラス数が限られているため、履修できない場合がある。 (注3) 本年度時間割の制約等により、必修外国語として履修できない場合、これまでに既得した単位は自由科目に振り替え、必修外国語として新たに別の外国語を履修する方法もある。

- *備考***
- 英語インテンシヴ・コースの履修**：英語能力試験(4月2日実施)の結果によって履修が決定された者のみ履修可。「特別な手続きが必要な場合」(P. 202～203)の指示、および「英語インテンシヴ・コースについて」(P. 203～204)参照。
 - 英語初級履修希望者**：入学以前にドイツ語・フランス語・中国語が既習で、過去に英語単位未取得の学生については、履修を許可する場合があるので、「特別な手続きが必要な場合」(P. 202～203)の指示を参照すること(許可なき履修は不可。また、入試の際、英語で受験した者と、入学以前の既習外国語が英語のみの者の履修も不可)。
 - 本学での単位未取得で、入学以前に英語以外の外国語が既習の中級以上のクラス履修希望者**：英語以外の外国語の中級以上のクラス履修を許可する場合があるので、「特別な手続きが必要な場合」(P. 202～203)の指示参照(許可なき履修は不可)。
 - 日本語履修にあたっての注意点**：外国語科目として日本語を履修できる学生は、外国人学生特別入学試験によって入学した学生、協定留学生および特に認められた者だけになっている。(P. 202～203 参照)

<注意>

- Ⅱ. **A表**参照の上で、履修希望クラスを選び、必ず「履修の手順」(P. 171)に従い履修して下さい。

*表中の記号説明 「B」：ベーシック、「C」：コミュニケーション、「R」：リーディング

語学	グレード	内 容	履修を申し込むことが可能なクラス（以下から選んで履修）		備 考
			各学科 優先クラス	優先されないクラス	
英 語	中	R	[哲学科] 哲ⅠA～C	所属学科優先クラス以外 の全ての中級リーディング※	初級Bも開講されている。 * A表 末尾 「備考2」参照
		[史学科] 史ⅠA～C			
		[日本語日本文学科] 日ⅠA～D			
		[英語英米文化学科] 英ⅠA～D※			
		[ドイツ語圏文化学科] 独ⅠA・B			
		[フランス語圏文化学科] 仏ⅠA～C			
		[心理学科] 心ⅠA～C			
		[教育学科] 教ⅠA・B			
	級	C	[哲学科] 哲ⅠA～C	所属学科優先クラス以外 の全ての中級コミュニケーション※	
		[史学科] 史ⅠA～C			
		[日本語日本文学科] 日ⅠA～D			
		[英語英米文化学科] 英ⅠA～D※			
		[ドイツ語圏文化学科] 独ⅠA・B			
		[フランス語圏文化学科] 仏ⅠA～C			
		[心理学科] 心ⅠA～C			
		[教育学科] 教ⅠA・B			

※英語英米文化学科、法学部法学科・政治学科、理学部向けのクラスは履修不可。

語学	グレード	内容	履修を申し込むことが可能なクラス（以下から選んで履修）		備考
			各学科 優先クラス	優先されないクラス	
英語	上級	R	[哲学科] 哲Ⅱ A～C	所属学科優先クラス以外 の全ての上級リーディング※	
		[史学科] 史Ⅱ A～C			
		[日本語日本文学科] 日Ⅱ A～D			
		[英語英米文化学科] 英Ⅱ A～D※			
		[ドイツ語圏文化学科] 独Ⅱ A・B			
		[フランス語圏文化学科] 仏Ⅱ A～C			
		[心理学科] 心Ⅱ A～C			
		[教育学科] 教Ⅱ A・B			
C	[哲学科] 哲Ⅱ A～C	所属学科優先クラス以外 の全ての上級コミュニケーション※			
	[史学科] 史Ⅱ A～C				
	[日本語日本文学科] 日Ⅱ A～D				
	[英語英米文化学科] 英Ⅱ A～F※				
	[ドイツ語圏文化学科] 独Ⅱ A・B				
	[フランス語圏文化学科] 仏Ⅱ A～C				
	[心理学科] 心Ⅱ A～C				
	[教育学科] 教Ⅱ A・B				

※英語英米文化学科、法学部政治学科、理学部向けのクラスは履修不可。

語 学	グ レ ー ド	内 容	履修を申し込むことが可能なクラス（以下から選んで履修）		備 考
			各学科 優先クラス	優先されないクラス	
ド イ ツ 語	初 級	B	[哲学科] 6・10	所属学科優先クラス以外 の全ての初級ベーシック	
			[史学科] 20		
			[日本語日本文学科] 9		
			[英語英米文化学科] 7・8		
			[ドイツ語圏文化学科] 11・12※		
			[フランス語圏文化学科] 9		
			[心理学科] 5		
	C	[哲学科] 6・7	所属学科優先クラス以外 の全ての初級コミュニケー ーション		
		[史学科] 5			
		[日本語日本文学科] 4			
		[英語英米文化学科] 8・9			
		[ドイツ語圏文化学科] 12～15※			
		[フランス語圏文化学科] 10			
		[心理学科] 10			
中 級	R	[ドイツ語圏文化学科] 6～11※	所属学科優先クラス以外 の全ての中級リーディング		
		[ドイツ語圏文化学科] 5～7※	所属学科優先クラス以外 の全ての中級コミュニケーション		
	上 級	R	なし	全ての上級リーディング	
		C	なし	全ての上級コミュニケー ーション	

※ドイツ語圏文化学科向けのドイツ語は、内容や求められるものが非常に高度であるため、受講を希望する他学科の学生はドイツ語圏文化学科事務室に相談すること。

語学	グレード	内容	履修を申し込むことが可能なクラス（以下から選んで履修）		備考
			各学科 優先クラス	優先されないクラス	
フランス語	初級	B	[哲学科] 8	所属学科優先クラス以外 の全ての初級ベーシック	
			[史学科] 9		
			[日本語日本文学科] 10		
			[英語英米文化学科] 11・12		
			[ドイツ語圏文化学科] 8		
			[フランス語圏文化学科] 13～15※		
			[心理学科] 16		
	中級	C	[哲学科] 8	所属学科優先クラス以外 の全ての初級コミュニケーション	
			[史学科] 9		
			[日本語日本文学科] 10		
			[英語英米文化学科] 11・12		
			[ドイツ語圏文化学科] 8		
			[フランス語圏文化学科] 13～19※		
			[心理学科] 20		
上級	中級	R	[フランス語圏文化学科] 1～8※	所属学科優先クラス以外 の全ての中級リーディング	
		C	[フランス語圏文化学科] 1～4※	所属学科優先クラス以外 の全ての中級コミュニケーション	
	上級	R	なし	全ての上級リーディング	
		C	なし	全ての上級コミュニケーション	

※フランス語圏文化学科向けのフランス語は、内容や求められるものが非常に高度であるため、受講を希望する他学科の学生はフランス語圏文化学科事務室に相談すること。

語学	グレード	内容	履修を申し込むことが可能なクラス（以下から選んで履修）		備考
			各学科 優先クラス	優先されないクラス	
中国語	初級	B	[哲学科] 14	所属学科優先クラス以外の全ての初級ベーシック	
			[史学科] 15・16		
			[日本語日本文学科] 17・18		
			[英語英米文化学科] 19		
			[心理学科] 20		
			[教育学科] 21		
		C	[哲学科] 14	所属学科優先クラス以外の全ての初級コミュニケーション	
			[史学科] 15・16		
			[日本語日本文学科] 17・18		
			[英語英米文化学科] 19		
			[心理学科] 20		
			[教育学科] 21		
	中級	R	なし	全ての中級リーディング	
			なし	全ての中級コミュニケーション	
C		なし	全ての中級コミュニケーション		
		なし	全ての中級コミュニケーション		
上級	R	なし	全ての上級リーディング		
		なし	全ての上級リーディング		
	C	なし	全ての上級コミュニケーション		
		なし	全ての上級コミュニケーション		

ロシア語・スペイン語・イタリア語・朝鮮語・アラビア語は、全学部対象にクラスを開講している。
また、スペイン語・イタリア語・朝鮮語については、一部の学科に対しクラス指定を行っている。

- *備考***
1. 英語「R集1TA～C、C集1WA～C」はインテンシブ・クラスとして開講されている。
 2. 英語・ドイツ語・フランス語・中国語は1科目4単位のセミナーも開講している。英語セミナーは、英語上級または上級特のうち4単位以上を修得した学生が履修できる。ドイツ語・フランス語・中国語セミナーは中級以上のうち2単位以上を修得した学生が履修できる。
 3. 初めて学ぶ人を対象に、ドイツ語母語話者・フランス語母語話者の教員が担当するドイツ語・フランス語初級コミュニケーションのクラスが1科目以上開講されている。話すことや聞くことに重点を置いた全学部対象のクラスである。

<履修上の注意>

- I. ここでは1年次学生が履修する、一般的なパターンを示しています。(例外的なものは備考参照。)
- II. 以下の表で履修を希望する外国語の履修方法を確認し、必ず「履修の手順」(P.171)に従い履修して下さい。
- III. ここで説明する履修の方法は、全ての履修区分(必修科目・選択必修科目・自由科目・随意科目)にあてはまります。
- IV. 原則として、入学手続き時に届け出た外国語(ドイツ語・フランス語)と英語を履修して下さい。やむをえず届け出と異なった外国語の履修を希望する場合は、クラス指定されませんので、下記の各外国語欄(注2)「指定されたクラスがない場合」の履修方法に従って希望外国語を履修して下さい。

*表中の記号説明 「B」:ペーシック、「C」:コミュニケーション、「R」:リーディング

物 理 学 科 ・ 化 学 科 ・ 数 学 科 ・ 生 命 科 学 科		
英 語	中 級	指定された「R」1クラス、「C」1クラス、計2クラスを履修すること。 (指定クラスは西1号館正面入口掲示場に掲示発表する。) (注1) 中級クラスについては、「R」1クラス、「C」1クラス、計2クラスを履修すること。 (注2) 指定されたクラスがない場合(休学者等含む)は、外国語教育研究センター事務室に相談し、指定されたクラスを履修すること(上記「履修上の注意 IV」参照)。 (注3) 原則として指定されたクラスを履修すること。指定されたクラスの変更を希望する場合は、所属学科教務委員に相談すること。 (注4) 中級クラスの履修を基準とするが、中級クラスを履修せずに、理学部B表記載の「R」および「C」の上級特クラスを履修することは可。 (注5) 中級クラスの履修を基準とするが、中級クラスを履修せずに、理学部B表記載の上級クラスから選んだクラスを履修することも可。
ド イ ツ 語	初 級	入学手続き時の届け出により指定された「B」1クラス、「C」1クラス、計2クラスを履修すること。(指定クラスは西1号館正面入口掲示場に掲示発表する。) (注1) 初級クラスについては、「B」1クラス、「C」1クラス、計2クラスまで履修できる。 (注2) 指定されたクラスがない場合(休学者等含む)は、理学部B表記載の初級クラス(なるべく理学部優先クラス)から履修希望クラスを選んで履修すること(上記「履修上の注意 IV」参照)。 (注3) 初級クラス内での変更は認めない。

(注1) 初級クラスについては、「B」1クラス、「C」1クラス、計2クラスまで履修できる。

(注2) 指定されたクラスがない場合（休学者等含む）は、理学部B表記載の初級クラス（なるべく理学部優先クラス）から履修希望クラスを選んで履修すること（上記「履修上の注意 IV」参照）。

(注3) 初級クラス内での変更は認めない。

ロシア語・スペイン語・イタリア語・朝鮮語・アラビア語については、全学部対象にクラスを開講している。「履修の手順」(P. 171)に従って履修すること。(ただし、開設クラス数が限られているため、時間割の制約等により履修できない場合もある。)

また、スペイン語・イタリア語・朝鮮語については、一部の学科に対しクラス指定を行っている。指定クラスは西1号館正面入口の掲示場にて発表する。

- (196)

＜履修上の注意＞

- I. 「履修規定」をよく読んで履修グレード（級）を選択して下さい。
- II. 以下の表で履修を希望する外国語の履修方法を確認し、必ず「履修の手順」(P. 171) に従い履修して下さい。
- III. ここで説明する履修の方法は、全ての履修区分（必修科目・選択必修科目・自由科目・随意科目）にあてはまります。
- IV. 前年度までに取得すべき単位が残っている学生も、履修経験の有無にかかわらず、この表の指示に従い履修して下さい（Q.&A. 24 項参照）。

* 表中の記号説明 「C」：コミュニケーション、「R」：リーディング

物 理 学 科 ・ 化 学 科 ・ 数 学 科 ・ 生 命 科 学 科		
英 語	中 級	2～4 年次 外国語教育研究センターに相談の上、指定されたクラスを履修すること。
	上 級	物理学科・化学科・数学科の 2 年次 指定された「R」 1 クラス、または自由に選んだ「C」 1 クラスを履修すること。 (指定クラスは西 1 号館正面入口掲示場に掲示発表する。) 生命科学科の 2 年次 指定された「R」 1 クラス、「C」 1 クラス、計 2 クラスを履修すること。 (指定クラスは西 1 号館正面入口掲示場に掲示発表する。) (注 1) 指定されたクラスがない場合（休学者等含む）は、外国語教育研究センター事務室に相談し、指定されたクラスを履修すること。 (注 2) 原則として指定されたクラスを履修すること。指定されたクラスの変更を希望する場合は、所属学科教務委員に相談すること。
		3・4 年次 外国語教育研究センターに相談の上、指定されたクラスを履修すること。
ド イ ッ 語	初 級	2～4 年次 理学部 B 表記載の初級クラスから履修希望クラスを自由に選んで履修すること。
	中 級	物理学科・化学科の 2 年次 指定された「R」 1 クラスを履修すること。 (指定クラスは西 1 号館正面入口掲示場に掲示発表する。) (注 1) 指定されたクラスがない場合（休学者等含む）は、理学部 B 表記載の中級クラス（なるべく理学部優先クラス）から履修希望クラスを選んで履修すること。 (注 2) 原則として指定された中級クラスから他の中級クラスへの変更は不可。
	上 級	3・4 年次および数学科・生命科学科の 2 年次 理学部 B 表記載の中級クラスから履修希望クラスを自由に選んで履修すること。
	上 級	2～4 年次 理学部 B 表記載の上級クラスから履修希望クラスを自由に選んで履修すること。

フ ラ ン ス 語	初 級	2～4年次 理学部B表記載の初級クラスから履修希望クラスを自由に選んで履修すること。
	中	物理学科・化学科の2年次 指定された「R」1クラスを履修すること。 (指定クラスは西1号館正面入口掲示場に掲示発表する。) (注1) 指定されたクラスがない場合(休学者等含む)は、理学部B表記載の中級クラス (なるべく理学部優先クラス)から履修希望クラスを選んで履修すること。 (注2) 原則として指定された中級クラスから他の中級クラスへの変更は不可。
	上 級	3・4年次および数学科・生命科学科の2年次 理学部B表記載の中級クラスから履修希望クラスを自由に選んで履修すること。
	上 級	2～4年次 理学部B表記載の上級クラスから履修希望クラスを自由に選んで履修すること。
中国語については、理学部B表から履修希望クラスを自由に選んで履修すること。		
ロシア語・スペイン語・イタリア語・朝鮮語・アラビア語については、全学部対象にクラスを開講しているため、「履修の手順」(P. 171)に従って履修すること。(ただし、開設クラス数が限られているため、時間割の制約等により履修できない場合もある。) また、スペイン語・イタリア語・朝鮮語については、一部の学科に対しクラス指定を行っている。指定クラスは西1号館正面入口の掲示場にて発表する。		

- *備考***
- 英語インテンシヴ・コース(クラス)の履修** : 英語能力試験(4月2日実施)の結果によって履修が決定された者のみ履修可。「特別な手続きが必要な場合」(P. 202～203)の指示、および「英語インテンシヴ・コースについて」(P. 203～204)参照。
 - 英語初級履修希望者** : 入学以前にドイツ語・フランス語が既習で、過去に英語単位未取得の学生については、履修を許可する場合があるので、「特別な手続きが必要な場合」(P. 202～203)の指示参照(許可なき履修は不可)。また、入試の際英語で受験した者と、入学以前の既習外国語が英語のみの者の履修も不可)。
 - 本学での単位未取得で、入学以前にドイツ語・フランス語が既習の中級以上のクラス履修希望者** : 履修を許可する場合があるので、「特別な手続きが必要な場合」(P. 202～203)の指示参照(許可なき履修は不可)。
 - 日本語履修にあたっての注意点** : 外国語科目として日本語を履修できる学生は、協定留学生および特に認められた者だけになっている。(P. 202～203 参照)

<注意>

- I. 履修規定をよく読んで履修グレード（級）を選択して下さい。
 II. **A表**参照の上で、履修希望クラスを選び、必ず「履修の手順」（P.171）に従い履修して下さい。

*表中の記号説明 「B」：ベーシック、「C」：コミュニケーション、「R」：リーディング

語 学	グ レ ード	内 容	履修可能なクラス		備 考
			各学科クラス		
英 語	中 級	R	理Ⅰ A～H	指定されたクラスを履修すること。	初級Bも開講されている。 * A表 末尾「備考2」参照
		C	理Ⅰ A～H	指定されたクラスを履修すること。	
	上 級	R	理Ⅱ A～H	生命科学科の学生は、指定されたクラスを履修すること。その他の学科の学生は、原則として指定されたクラスを履修すること。	
		C	理Ⅱ A・B	生命科学科の学生は指定されたクラスを履修すること。その他の学科の学生で、左の欄にある科目を履修したい場合、外国語教育研究センターに相談の上、指定されたクラスを履修すること※。	

※英語英米文化学科、および政治学科向けのクラスは履修不可。

語 学	グ レ ード	内 容	履修を申し込むことが可能なクラス (以下から選んで履修)		備 考
			各学科優先クラス	優先されないクラス	
ド イ ツ 語	初 級	B	13～19	所属学科優先クラス以外の全ての初級ベーシック※	
		C	16～22	所属学科優先クラス以外の全ての初級コミュニケーション※	
	中 級	R	12～16	所属学科優先クラス以外の全ての中級リーディング※	
		C	なし	全ての中級コミュニケーション※	
	上 級	R	なし	全ての上級リーディング	
		C	なし	全ての上級コミュニケーション	

※ドイツ語圏文化学科向けのドイツ語は、内容や求められるものが非常に高度であるため、受講を希望する他学科の学生はドイツ語圏文化学科事務室に相談すること。

語 学	グ レ ード	内 容	履修を申し込むことが可能なクラス (以下から選んで履修)		備 考
			各学科優先クラス	優先されないクラス	
フ ラ ン ス 語	初 級	B	17～20	所属学科優先クラス以外の全ての初級ベーシック※	
		C	21～24	所属学科優先クラス以外の全ての初級コミュニケーション※	
	中 級	R	9・10	所属学科優先クラス以外の全ての中級リーディング※	
		C	なし	全ての中級コミュニケーション※	
	上 級	R	なし	全ての上級リーディング	
		C	なし	全ての上級コミュニケーション	

※フランス語圏文化学科向けのフランス語は、内容や求められるものが非常に高度であるため、受講を希望する他学科の学生はフランス語圏文化学科事務室に相談すること。

語 学	グ レ ー ド	内 容	履修を申し込むことが可能なクラス (以下から選んで履修)		備 考
			各学科優先クラス	優先されないクラス	
中 国 語	初 級	B	なし	全ての初級ベーシック	
		C	なし	全ての初級コミュニケーション	
	中 級	R	なし	全ての中級リーディング	
		C	なし	全ての中級コミュニケーション	
	上 級	R	なし	全ての上級リーディング	
		C	なし	全ての上級コミュニケーション	
ロシア語・スペイン語・イタリア語・朝鮮語・アラビア語は、全学部対象にクラスを開講している。 また、スペイン語・イタリア語・朝鮮語については、一部の学科に対しクラス指定を行っている。					

- *備考***
- 英語「R集1TA～C、C集1WA～C」はインテンシヴ・クラスとして開講されている。
 - 英語・ドイツ語・フランス語・中国語は1科目4単位のセミナーも開講している。英語セミナーは、英語上級または上級特のうち4単位以上を修得した学生が履修できる。ドイツ語・フランス語・中国語セミナーは中級以上のうち2単位以上を修得した学生が履修できる。
 - 初めて学ぶ人を対象に、ドイツ語母語話者・フランス語母語話者の教員が担当するドイツ語・フランス語初級コミュニケーションのクラスが1科目以上開講されている。話すことや聞くことに重点を置いた全学部対象のクラスである。

＜履修上の注意＞

- I. 総合基礎科目の外国語履修方法は、法学部・経済学部・文学部・理学部とは大きく異なりますので、くれぐれも注意してください。
- II. 総合基礎科目の英語（この冊子掲載の英語科目）は履修できません。
- III. 英語以外の外国語科目の履修を希望する場合は、履修規定をよく読んだうえで選択してください。国際社会科学部学生向け指定クラス・優先クラスは設けていませんので、第1回目の授業に出席し、教員の指示に従ってください。ただし、指定クラス・優先クラスの履修状況により履修できない場合があります。

特別な手続きが必要な場合

* 次の場合は、履修クラスを決めるにあたって、特別な手続きが必要です。

1. 英語初級履修希望者
2. 英語以外の外国語を入学以前に既習のため、初級単位未取得でも、中級以上のクラス履修を希望する者
3. 英語インテンシヴ・コース（クラス）履修希望者
4. 外国人学生特別入学試験によって入学した学生以外で、日本語を履修しようとする者

* 1～2については、開講前に申し出ないと、希望のクラスを履修できなくなる場合がありますので、早めに手続きして下さい。また、3については開講前に1年生を対象に実施される英語能力試験の結果によって履修者が決定されます。1年生の履修希望者は試験後に行われるガイダンスに必ず出席して下さい。また、2年生以上の履修希望者も英語能力試験を必ず受験（掲示を参照）し、ガイダンスにも出席して下さい。（手続き完了後、履修クラスが決まってからは「履修の手順」（P.171）の②③④の指示に従って下さい。）

特別な手続きが必要な場合		手 続 き 場 所 ・ 日 時	備 考
1	英語初級履修希望者 （入試の際英語で受験した者、入学以前に英語のみが既習の者の履修不可）	事前に高校の成績証明書を持参の上、下記に申し出ること。 外国語教育研究センター（中央教育研究棟6階） 4月7日（木）～9日（土）および11日（月）～13日（水） 9時～16時（11時半から12時半を除く）	9日（土）の受付は12時まで
2	英語以外の外国語を入学以前に既習のため、初級単位未取得でも、中級以上のクラス履修を希望する者	ドイツ語・フランス語（ドイツ語圏文化学科・フランス語圏文化学科の学生を除く。両学科の学生はP.185を参照）：希望する中級以上のクラスの担当教員に直接履修許可を求める（なるべく開講第1回目の授業時に申し出ること）。相談がある場合は下記の日時に受け付ける。 外国語教育研究センター（中央教育研究棟6階） 4月7日（木）～9日（土）および11日（月）～13日（水） 9時～16時（11時半から12時半を除く） 中国語・ロシア語・スペイン語・イタリア語・朝鮮語・アラビア語： 希望する中級クラスの担当教員に直接履修許可を求める（なるべく開講第1回目の授業時に申し出ること）。	9日（土）の受付は12時まで
3	英語インテンシヴ・コース（クラス）履修希望者	①英語能力試験： 1年生 法→中央-301、302 政→西2-201、204 済→西2-301、302 営→西2-401、402 哲→西5-B1 史→中央-303、401 日→西5-202 英→西5-303 ド→中央-402 フ→西5-201 心→西5-B1 教→中央-404 物→西2-501 化→西2-501 数→西5-302 生→中央-405 IC希望者2年生以上 →西5-301 4月2日（土）13時00分～16時00分 ②履修希望者ガイダンス：西2号館 201教室 4月4日（月）16時～17時	英語能力試験を受験の上、ガイダンスに必ず出席すること（「英語インテンシヴ・コースについて」P.203～204参照）。

4	外国人学生特別入学試験によって入学した学生以外で、日本語を履修しようとする者	外国語教育研究センター（中央教育研究棟 6 階） 4 月 7 日(木)～9 日(土)および 11 日(月)～13 日(水) 9 時～16 時（11 時半から 12 時半を除く）	9 日（土）の 受付は 12 時まで
---	--	--	--------------------------

英語インテンシヴ・コースについて

英語インテンシヴ・コースは、国際人として通用する英語の実践的な能力を養成するために特別に設けられているコースである。履修者は英語能力試験の結果にて決定する。コース修了後に希望者には修了証が与えられる。

なお、コースを修了せず部分的に履修することも可能である。

履修科目

通常クラスに加え、インテンシヴ・コース専用のクラスを履修できる。

インテンシヴ・クラス			通常クラス		
①	②	各 2単位	Ⅲ	英語セミナー	4単位
英語コミュニケーション (C) 集 1 WA B C (ワークショップ)	英語リーディング (R) 集 1 TA B C (テーマ・スタディ)		Ⅱ	英語コミュニケーション (C) (上級・上級特)	各 2単位
			Ⅰ	英語コミュニケーション (C) (中級)	各 2単位

インテンシヴ・コース専用クラスの内容

- ①英語コミュニケーション (C) 集 1 WA ～ C (ワークショップ)
国際共通語としての英語を理解し、発信型の英語能力を養成するクラス
主としてネイティヴ教員が担当
- ②英語リーディング (R) 集 1 TA ～ C (テーマ・スタディ)
言語、文化、社会、政治、経済、科学に関する講義および演習形式のクラス
主としてネイティヴ教員が担当

履修方法：インテンシヴ・コース修了の必修科目と単位

- (i) インテンシヴ・コース専用クラス
 - ①集 1 W [A ～ C 合計 3 クラス] から 2 クラス以上選択 (4 単位必修)
 - ②集 1 T [A ～ C 合計 3 クラス] から 2 クラス以上選択 (4 単位必修)

※担当教員または内容が異なれば、同名クラスでも異年度に再履修できる。

例：集 1 WA を 2 回以上履修

- (ii) 上記 (i) を含め、3 年以内に通常クラスおよびインテンシヴ・コース専用クラスから合計 8 クラス、20 単位以上。

履

平成 28 年度 インテンシヴ・クラスおよび英語セミナー

	科目	クラス	単位
インテンシヴ・コース 専用クラス	英語コミュニケーション(C) (ワークショップ)	集 1 WA	2
		集 1 WB	2
		集 1 WC	2
	英語リーディング(R) (テーマ・スタディ)	集 1 TA	2
		集 1 TB	2
		集 1 TC	2
通常クラス	英語セミナー	A	4
		B	4
		C	4

平成 28 年度 インテンシヴ・コース (クラス) 日程

	日時・場所 など	備考
英語能力試験	4 月 2 日 (土) 13時00分～16時00分 1 年生 法→中央-301、302 政→西2-201、204 済→西2-301、302 営→西2-401、402 哲→西5-B1 史→中央-303、401 日→西5-202 英→西5-303 ド→中央-402 フ→西5-201 心→西5-B1 教→中央-404 物→西2-501 化→西2-501 数→西5-302 生→中央-405 IC希望者 2 年生以上 →西5-301	
履修希望者ガイダンス	4 月 4 日 (月) 16時～17時 西 2 - 201	「履修希望届」を配付するため、履修希望者は必ず出席すること。
合格者発表	4 月 5 日 (火) 12時～ 北 1 号館西側掲示場 外国語教育研究センター掲示板	

Q. &A. ————こんな時はどうしたらよいのですか？

ここでは、履修クラスの選択方法に関する疑問点について、次のようなケースを扱っています。

- (1) クラス指定方式について : Q.1～3
- (2) 履修クラスの選択範囲・選択方法について : Q.4～7
- (3) 履修が許可される優先順位について : Q.5
- (4) 入学手続き時の登録と異なる外国語の履修について : Q.8
- (5) 指定されたクラスの変更について : Q.9
- (6) 履修を希望するクラスの第1回目の授業に欠席した場合について : Q.10
- (7) 履修クラスの決定時期について : Q.11・12
- (8) 履修グレード(初級・中級・上級)、セミナーについて : Q.13～24
- (9) 履修した科目が不合格となった場合について : Q.21
- (10) 哲学科学生で英語以外を必修外国語(I)とする場合について : Q.25
- (11) 休学経験者の履修について : Q.26
- (12) 編入学者・再入学者の履修について : Q.27
- (13) 履修クラス数の制限について : Q.28
- (14) 外国語クラス名の略称について : Q.29
- (15) 継続履修について : Q.30
- (16) 法学部・文学部・理学部学生の必修外国語登録について : Q.31
- (17) 履修規定に関する質問への対応について : Q.32

Q. 1

1 年次学生ですが、**A 表**を見てクラス指定されていることがわかりました。どのような履修手続きが必要でしょうか。

A. 1 所属学部で1年次用**A 表**に「クラス指定」となっている場合は、まず、西1号館正面入口掲示場に掲示されている「指定クラス履修者リスト」(基本的には入学手続き時の届け出を参考に作成)を見て、指定クラスを確認して下さい。そのクラスの履修を希望する場合は、「履修の手順」(P.171)のとおり手続きをして下さい。

「履修の手順」の②にもあるように、第1回目の授業への出席が履修許可を得るための条件となっていますから、たとえクラスが指定されていても、第1回目の授業に欠席すると、「履修の意思がないもの」とみなされ、第1回目の授業で定員に達するなどの理由で、そのクラスの履修ができなくなる場合がありますから、必ず第1回目の授業に出席して下さい。(履修が許可される優先順位については、Q.5 参照。)

Q. 2

1 年次学生で、入学手続き時には履修希望外国語を届け出たはずなのに、指定クラス履修者リストに名前がありません。なぜでしょうか。クラス指定されていなくても、希望する外国語を履修できますか。

- A. 2 クラス指定は入学手続き時の届け出を参考に行いますが、(細心の注意をはらって作業していても) 処理上の何らかのトラブルによって、不幸にも指定クラスからもれてしまうケースが発生してしまうことがないとは言えません。こういうケースについては、改めてクラスを指定しますので、指定クラス履修者リストを確認後、随時外国語教育研究センター事務室(中央教育研究棟6階)に来て下さい。

なお、この時間に相談に来なかった場合や、希望外国語を勘違いしていた場合でも、所属学部・1年次用 **A表** 各外国語欄の(注2)の指示に従って、**B表** からクラスを選んで履修することができます。したがって、履修を希望するクラスの第1回目の授業には必ず出席して、履修許可を得るようにして下さい。

Q. 3

2つの外国語を履修するつもりです。**A表**を見ると両方ともクラス指定されていることがわかりました。ところが、同一時限に指定されてしまっています。どうしたらよいでしょうか。

- A. 3 クラス指定が行われる学科優先のクラスについては、専門科目の時間割設定上、やむをえず重複指定となることがあります。クラス指定されている学生は、担当教員の履修許可を得る上で有利ですから、どちらのクラスも捨て難いですが、このような場合は、指定クラスの変更について所属学部の **A表** の各外国語欄の注記に説明がありますから、その指示に従い、どちらかのクラスを変更して下さい。

Q. 4

入学手続き時には履修希望外国語を届け出なかった1年次学生です。外国語を履修することはできますか。

- A. 4 できます。この場合、クラス指定はされません。(例外として法学部1年次対象の英語中級クラス等いくつかの場合は、入学手続き時に届け出がなくてもクラス指定されます。) 一般的に1年次を対象としているクラスのほとんどには指定されたメンバーがいます。例えば各学部・学科対象の英語中級クラスと、ドイツ語・フランス語・中国語初級クラス等です。また、文学部・理学部の2年次対象の英語上級クラスとドイツ語・フランス語の中級クラスの一部にはあらかじめクラス指定されたメンバーがいたので、履修許可を得る上で多少不利とはなります。しかし、所属学部の1年次用 **A表** 各外国語欄の(注2)の指示に従って、**B表** からクラスを選んで履修することはできますから、履修を希望するクラスの第1回目の授業に必ず出席して履修許可を求めて下さい。

Q. 5

特に指定されたクラスはありません。そこで **A表**・**B表** を参考に履修を希望するクラスを選んでみましたが、既にそのクラスを指定されている人がいるようです。履修が許可されることがあるのでしょうか。

- A. 5 あります。この場合、クラス指定されている人の中から、何人が第1回目の授業に出席し履修を申し込むかによって、あなたが履修できるかどうかが決まります。ですから、必ず第1回目の授業に出席して、履修を申し込んで下さい。

なお、基本的には次の表のように履修が許可されていきます。

出席状況	クラス指定	
	指定されている者	指定されていない者
第1回目授業に出席	履修が許可される	左の者に履修許可してなお余裕がある場合に、履修を許可することもある
第1回目授業に欠席	履修の意思がないものとみなされ、優先権を失う	
第2回目授業に <u>初めて</u> 出席	定員数に余裕がある場合に、履修を許可することもある	

- 注意 1. あらかじめクラス指定されている人で満員にならない場合は、クラス指定されていない学生も履修が可能になります。
2. 各クラスの開講後の定員締切り情報については、開講後第1回目授業期間終了後のみ西1号館1階の正面入口掲示場に発表します。(その後の動向については発表しません。P.214の補足説明参照。)
3. あらかじめ指定クラス履修者リストがないクラスに関しては、第1回目授業に出席した学生が最優先されることになります。(ただし、定員より多い人数の場合は、履修が許可されないこともあります。)

Q. 6

「履修の手順」(P.171)や「履修規定」に従わずに届け出られた履修は認められないとのことですが、具体的にどのような処置がとられるのですか。

- A. 6 履修登録期間終了後に調査を行い、「履修の手順」(P.171)や「履修規定」に従っていない履修については、掲示発表の上、登録を抹消します。Q.12にも説明がありますが、担当教員に許可を得ないで履修登録し、事後承諾を求めようとしても許可されません。

Q. 7

英語は学科を示すクラス名称となっていますが、その学科でないと履修できないのですか。

- A. 7 所属学部のア表で履修クラスの選択方法を確認し、B表に記載の履修申し込み可能な範囲であれば履修することが可能です。しかし、他の必修科目も考慮の上、時間割を組んでいる場合がありますから、所属学科の名称のクラスを履修することをおすすめします。

Q. 8

入学手続き時に届け出た外国語とは違う外国語の履修を希望する1年次学生ですが、何か手続きは必要ですか。

A. 8 特に必要はありません。ただし、外国語によっては、入学手続き時の届け出内容をもとにクラス指定を行っています。これは、履修クラスを決定する際の混乱を防ぎ、1日も早く落ち着いて授業に臨めるようにとの配慮から実施していることです。それでも、やむをえず登録とは異なった外国語の履修を希望する場合は、所属学部 of 1年次用 **A表・B表**・「履修の手順」(P. 171)に従って履修して下さい。

Q. 9

1年次・2年次ともにクラス指定されることがあるようですが、同じ外国語の別のクラスを履修することはできますか。

A. 9 所属学部の **A表**に「クラス指定」となっていますが、「指定されたクラス以外のクラスの履修も可能」という指示があれば、他のクラスを選ぶことも可能です。ただし、希望クラスを必ず履修できるという保証はありません。1年次・2年次ともにクラス指定されている人は、第1回目の授業に出席すれば、履修許可が得られるわけですから、指定されたクラスの履修をおすすめします。

Q. 10

第1志望である指定クラスの第1回目の授業に欠席（病気等の理由）してしまいました。どうしてもそのクラスを履修したいのですが、どうすればよいでしょうか。

A.10 欠席は履修の意思がないものとみなされます。とにかく第2回目の授業に出席して履修を申し込んでみて下さい。

基本的には Q.5 の表のとおり、履修者が決まっています。

Q. 11

第1志望であるクラスの第1回目のクラスに出席したにもかかわらず、定員オーバーで抽選にもれ、履修が許可されませんでした。「履修の手順」の③には「早急に別のクラスを選び」とありますが、具体的にはいつまでに履修クラスを決定するべきでしょうか。

A.11 「履修の手順」(P. 171)の④にあるとおり、大学ポータルサイト上で履修登録することが、最終的な手続きです。しかし、Q.5でも説明しているように、時間が経過するほど、各クラスの履修メンバーが決定し、定員に達し、履修を申し込めなくなりますから、1日でも1限でも早く、履修を申し込むことが重要です。開講後第1回目授業期間内(4月7日～13日)に履修クラスが決まるように努力して下さい。履修を許可されない場合に備えて、すぐに対応できるように、前もっていくつかの候補を選んでおくとい良いでしょう。

Q. 12

履修については各クラスの担当教員の許可を得るようにということですが、具体的に期限を教えてください。

A. 12 「履修の手順」(P. 171) の④にも示してあるとおり、担当教員に履修が許可されたら大学ポータルサイト上で履修登録して手続き完了となります。したがって、履修登録する前の授業時に必ず許可を得ておく必要があります。履修許可を得ずに履修登録しても、担当教員に事後承諾を得ることはできません。(Q. 6 参照。)

Q. 13

1 年次学生の場合、各外国語について、どのグレード(初級・中級・上級)を選ばよいでしょうか。

A. 13 ほとんどの学生が既習であることから、英語は中級を、その他の外国語については、ほとんどが初習となるため、初級を履修することを基準としています。

ただし、入学以前に英語以外の外国語を重点的に学習してきたために、それらについて初級を履修せずに、中級から履修することを許可する場合があります。「特別な手続きが必要な場合」(P. 202 ~ 203) を参照して下さい。

Q. 14

入学以前は英語以外の外国語(ドイツ語・フランス語・中国語)を重点的に学習してきたので英語に自信がありません。初級を履修できますか。

A. 14 入学以前にドイツ語・フランス語・中国語を重点的に学習してきた人に限り、特に申し出があれば、英語初級の履修を許可する場合があります。「特別な手続きが必要な場合」(P. 202 ~ 203) を参照して下さい。

Q. 15

2 ~ 4 年次学生の場合、各外国語について、どのグレード(初級・中級・上級)を選ばよいでしょうか。

A. 15 前年度までに取得した単位により、履修すべきグレードが異なります。外国語の履修規定をよく読んで決めて下さい。前年度までに取得しておくことが望ましいグレードの単位が未取得の場合は、再度同じグレードを履修することも可能です。

Q. 16

英語には「上級特」というように、「特」のついたグレードがありますが、取得単位としてはどのように扱われるのですか。

また、ネーミングから判断すると、「上級」に比べてかなり高レベルであるような印象を受けます。ついていけないでしょうか。

A.16 「上級特」も「上級」とみなされます。上級と同様の扱いとわかっていても、レベルに差がありすぎてついてゆけないのでは、という不安をよく耳にします。外国語の学力・能力には個人差があるのですから、「上級特」=「very high level class」とは思い込まずに、『シラバス』をよく読んで学習内容を検討し、真に自分の学びたい内容を扱うクラスを選ぶことが重要です。

Q.17

留学（海外での生活）経験があり、指定された英語中級クラスでは物足りない気がします。別の高いレベルのクラスに移ることはできますか。

A.17 **A表**で、指定されたクラスを履修するように指示がある場合は、そのクラスを履修することが望ましいですが、英会話能力を持続・向上させることを目的に、上級特「R」Nクラス（Native Speakerが担当）を履修することもできます。ただし残念なことに、最近は留学経験者や海外帰国子女に限らず、英語は堪能でも、肝心の日本語の作文能力に劣っている人が増加しているので、日本人教員の担当する中級や上級の「R」クラス（いわゆる講読クラス）を履修することも決して無駄ではありません。

Q.18

ドイツ語初級とフランス語初級にネイティブの先生が担当するクラスがありました。まったくドイツ語やフランス語を学んだことがないのですが、ついていきますか。

A.18 はい。十分ついていきます。どちらのクラスも初めてドイツ語やフランス語に触れる方を対象としていますから、安心して参加してください。話すことや聞くことに重点を置いた実践的なクラスですので、会話の力をつけたいと考えている方はぜひ参加してください。

Q.19

フランス語初級コミュニケーションとドイツ語初級コミュニケーションについて、質問があります。外国人の先生と日本人の先生のクラスで違いはありますか。

A.19 コミュニケーション初級は「読む、聞く、話す」の総合基礎力を養いますが、外国人の先生のクラスは、より会話の要素が多くなります。日常生活で使う表現を題材にした会話のテキストを使います。会話から入りたい人、発音に力をいれたい人、フランスやドイツに実際行ってみたいと思っている人にお勧めです。

Q.20

英語セミナーは、どのようなクラスですか。

A.20 英語セミナーは、英語上級または英語上級特を4単位以上履修した人を対象とし、その読解力・表現力をさらに高めるためのクラスです。海外での勤務および留学希望者や、英語を特技として生かしたい学生などのために、論説その他の読解、ディベート、プレゼンテーション等の技術を身につけさせることを目標としています。

「授業内容」をよく読んで学習内容を検討し、真に自分の学びたい内容を扱うクラスを選ぶことが重要です。

Q. 21

前年度履修した科目が不合格でした。どうすればよいですか。

A. 21 取得しておきたい科目（単位）であれば、前年度と同じグレードを再度履修して下さい。

Q. 22

前年度までに初級の単位は取得できました。今年度はどのグレードを履修すればよいのですか。

A. 22 本学においては、初級から履修を始めた外国語（ただし英語は除く）については、中級履修の必須条件が各学科ごとに定められています。必ず自分の単位取得状況を外国語履修規定に照らし合わせてみて、履修を希望するグレードの履修条件を満たしているかどうか確認してから、履修グレード等選ぶようにして下さい。

Q. 23

前年度までにすでに英語上級の必要単位は修得できました。今年度、再度英語上級を履修することは可能ですか。

A. 23 可能です。ただし、開講クラス数には限りがありますから、履修許可の優先順位が低くなる場合があります。

Q. 24

各学部 の 2 ～ 4 年次用の **A 表** の「履修上の注意 IV」に「履修経験の有無にかかわらず、この表の指示に従い履修」とありますが、どのような意味でしょうか。

A. 24 2 年次以上の学生が外国語を履修する場合としては、上記の Q. 21 ～ Q. 23 にも述べましたが、次の 3 つのケースが一般的です。

- ①前年度までに履修経験はあるが不合格となり、修得しておきたい単位が未修得となっているため、前年度と同じ外国語の同じグレードに再挑戦

例：昨年度→ドイツ語初級不合格

今年度→ドイツ語初級を再度履修

- ②前年度までに履修経験がないグレードに初挑戦

例：昨年度→中国語初級合格

今年度→中国語中級を初めて履修

（なお、前年度までに履修経験がない外国語を新たに履修する場合も、これに該当します。）

- ③前年度までに履修し、既に合格実績のあるグレードに再挑戦

例：昨年度→英語上級合格

今年度→英語上級を再度履修

「①～③どの場合も所属学部の **A 表** の指示に従って下さい」という意味です。

Q. 25

哲学科学生ですが、英語以外の外国語を必修外国語（Ⅰ）としたいと思います。履修規定で確認した「履修すべきクラス数」と「指定されたクラス数」とが一致していません。どうすればよいのでしょうか。

A. 25 従来哲学科学生の大部分が英語を必修外国語（Ⅰ）とする傾向があったため、それにあわせてクラス指定を行っています。英語を外国語（Ⅰ）としない人に対しては、1年次については、文学部1年次用 A 表の各外国語欄の（注）に、2年次については文学部2～4年次用 A 表のうち、クラス指定を行う2年次の「英語」欄の（注）に哲学科学生の履修すべきクラスに関する指示がありますので、指示に従って履修クラスを選んで下さい。

Q. 26

休学経験者はどのように履修したらよいのでしょうか。

A. 26 休学経験者はそれぞれの所属学部 of 該当年次用 **A 表** の指示に従って下さい。

Q. 27

編入学者・再入学者はどのように履修したらよいのでしょうか。

A. 27 認定された単位数により、各人「履修区分」や「履修グレード」が異なります。所属学科の履修規定でよく確認した上で、所属学部 of 該当年次用の **A 表** の指示に従って下さい。

Q. 28

各年度に履修できるクラス数に制限はあるのでしょうか。

A. 28 制限のある場合があります。1年次学生については、所属学部の **A 表** の外国語ごとに（注1）の部分に履修可能なクラス数が明記されていますので、その指示に従って下さい。2年次以降は、前年度までに修得した単位数によって状況が異なりますし、各学科の履修規定にも関わる問題ですから、**A 表** ではあえて履修クラス数の制限については（法学部2～4年次の英語中級履修の場合を除いて）触れていません。しかし、開講クラス数には限りがありますから、必要とする単位数よりも、むやみに多くのクラスを履修することは避けて下さい。

Q. 29

この「手引き」の **A 表・B 表** や、時間割に書かれている「B」、「C」、「R」などは何かの記号ですか。

A. 29 学習する内容を示した、外国語クラス名称の記号で、名称は以下の通りですが、詳細は『履修要覧』の各外国語の履修について説明している部分を参照して下さい。

各外国語：「B」→ベーシック

「C」→コミュニケーション

「R」→リーディング

「集」→インテンシヴ

Q. 30

留学した後に、留学前に願い出たとおり継続履修をしようとしたましたが、該当のクラスは今年度開講されていません。どうしたらよいのでしょうか。

A. 30 継続履修願提出時に、対応の詳細について説明した書類を渡しています。それを読んでもわからない点があれば、学生センター教務課に問い合わせして下さい。

Q. 31

法学部・文学部・理学部学生は、外国語が必修科目ですが必修外国語を登録する必要がありますか。また、文学部・理学部学生が必修外国語を前年度と違う外国語に変更したい場合に、何か手続きは必要ですか。

A. 31 3学部ともに、入学手続き時の登録は、あくまでもクラス指定を行う上での参考資料としたものです。必修外国語の正式な登録ではありません。

法学部学生は、必修外国語として履修する外国語クラス（科目）を履修登録すれば手続き完了となり、必修外国語登録作業は特にありません。

文学部学生（哲学科・史学科・日本語日本文学科・心理学科のみ）については、必修外国語として履修する外国語クラス（科目）を、履修登録することに加えて、1年次の履修登録時に限り、外国語（Ⅰ）を登録して下さい。なお、2年次以降に外国語（Ⅱ）の変更を希望する場合は履修登録だけで可能ですが、外国語（Ⅰ）の変更は、履修登録前に所属学科事務室に相談して下さい。また、外国語（Ⅰ）が未登録のまま文学部（哲学科・史学科・日本語日本文学科・心理学科のみ）2年次以上に編入学または再入学した学生は、入学の際の単位認定書作成時に登録しますので、所属学科事務室に相談して下さい。

理学部学生は、必修外国語として履修する外国語クラス（科目）を履修登録することに加えて、1年次の履修登録時に限り、外国語（Ⅱ）を登録して下さい。なお、2年次以降に外国語（Ⅱ）の変更を希望する場合は、履修登録前に学生センター教務課に相談して下さい。また、外国語（Ⅱ）が未登録のまま理学部2年生以上に編入学または再入学した学生は、入学の際の単位認定書作成時に登録しますので、学生センター教務課に相談して下さい。加えて、物理学科の学生で外国語（Ⅱ）として、中国語、ロシア語、スペイン語、イタリア語、朝鮮語、またはアラビア語の履修を希望する場合は、履修登録前に学生センター教務課に申し出て下さい。

Q. 32

履修クラスの選択方法はよくわかったのですが、「履修区分」や自分の必要とする「履修単位数」がはっきりしません。このような場合はどうすればよいのでしょうか。

A. 32 この「手引き」は具体的な「履修登録までの手順」を示すもので、履修規定に関わる疑問（履修区分・履修単位数）に答えるものではありません。所属学部・学科が学年当初に行う履修ガイダンスを参考にし、所属学部・学科の「履修規定」をよく読めば、「履修区分」や「履修単位数」にすることはわかるはずですが、それでもなお疑問点がある場合は、自分の所属学科事務室（研究室）に問い合わせして下さい。

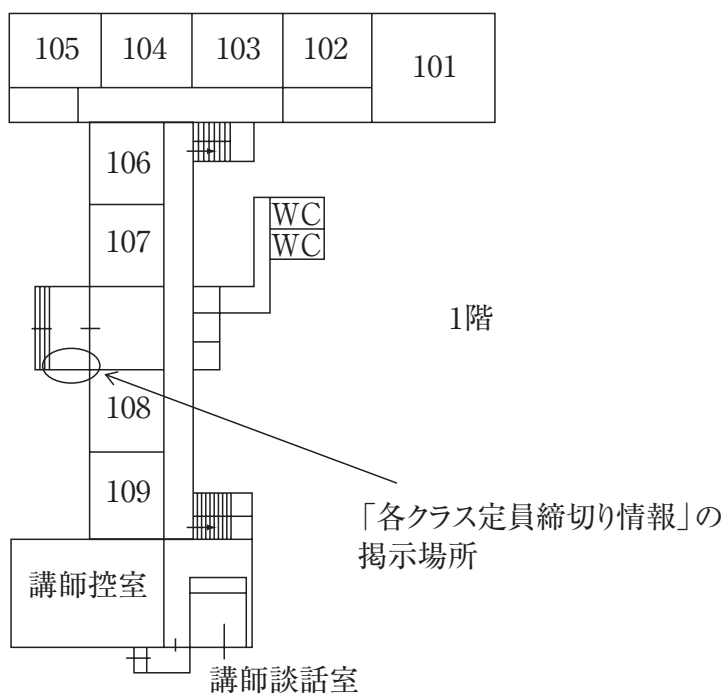
なにが問題なのかも十分認識せず、やみくもに質問する人が多いようです。大学は「考える」ところです。窓口の混乱を避けるためにも、よく「履修規定」を読んで、疑問点を明確にしてから、質問するようにして下さい。

平成 28 年度

《各クラス定員締切り情報について》

1. 各クラスについて、開講第 1 回目の授業期間終了後（4 月 13 日）での定員締切り状況を示したものです。
2. 「各クラスの定員締切り情報」については、開講第 1 回目授業期間終了後に西 1 号館 1 階の正面入口掲示場に発表します。（その後の動向については発表しません。）
3. 開講第 1 回目授業期間内（4 月 7 日～ 13 日）に履修クラスが決まらなかった学生は、履修希望クラスを選ぶ際に、これを参考にして下さい。

以 上



西 1 号館

学科履修規定の問い合わせ先

「履修規定」に関する疑問点は、自分の所属学科事務室（研究室）に問い合わせてください。
（以下参照。この件については、Q.&A.32項にも説明があります。）

履

所属学部・学科		問　い　合　わ　せ　先
法	法学・政治	法学部共同研究室にて、所定の質問用紙を教務委員に提出すること
経	経済・経営	東2号館12階経済学部共同研究室
文	哲学	哲学科事務室
	史学	史学科事務室
	日本語日本文学	日本語日本文学科事務室
	英語英米文化	英語英米文化学科事務室
	ドイツ語圏文化	ドイツ語圏文化学科事務室
	フランス語圏文化	フランス語圏文化学科事務室
	心理	心理学科事務室
	教育	教育学科事務室
理	物理・化学・数学・生命科学	学生センター教務課および各学科の教務委員